

国道 57 号 立野拡幅

平成 24 年 8 月 2 日

国土交通省 九州地方整備局

1. 事業の概要	道路-1-1
(1) 国道 57 号の概要	道路-1-1
(2) 国道 57 号 立野拡幅の概要	道路-1-2
2. 事業の必要性	道路-1-4
(1) 事業を巡る社会情勢等の変化	道路-1-4
(2) 事業の効果・必要性	道路-1-19
(3) 事業の投資効果	道路-1-26
(4) 事業の進捗状況	道路-1-27
3. 事業の進捗の見込み	道路-1-28
(1) 今後の事業の見通し	道路-1-28
(2) 地域の協力体制	道路-1-28
(3) 環境・景観への取り組み状況	道路-1-29
4. 事業費の変動要因	道路-1-30
5. コスト縮減や代替案立案等	道路-1-32
6. 対応方針(原案)	道路-1-33
7. その他	道路-1-33
巻末資料	道路-1-34

1. 事業の概要

(1) 国道 57 号の概要

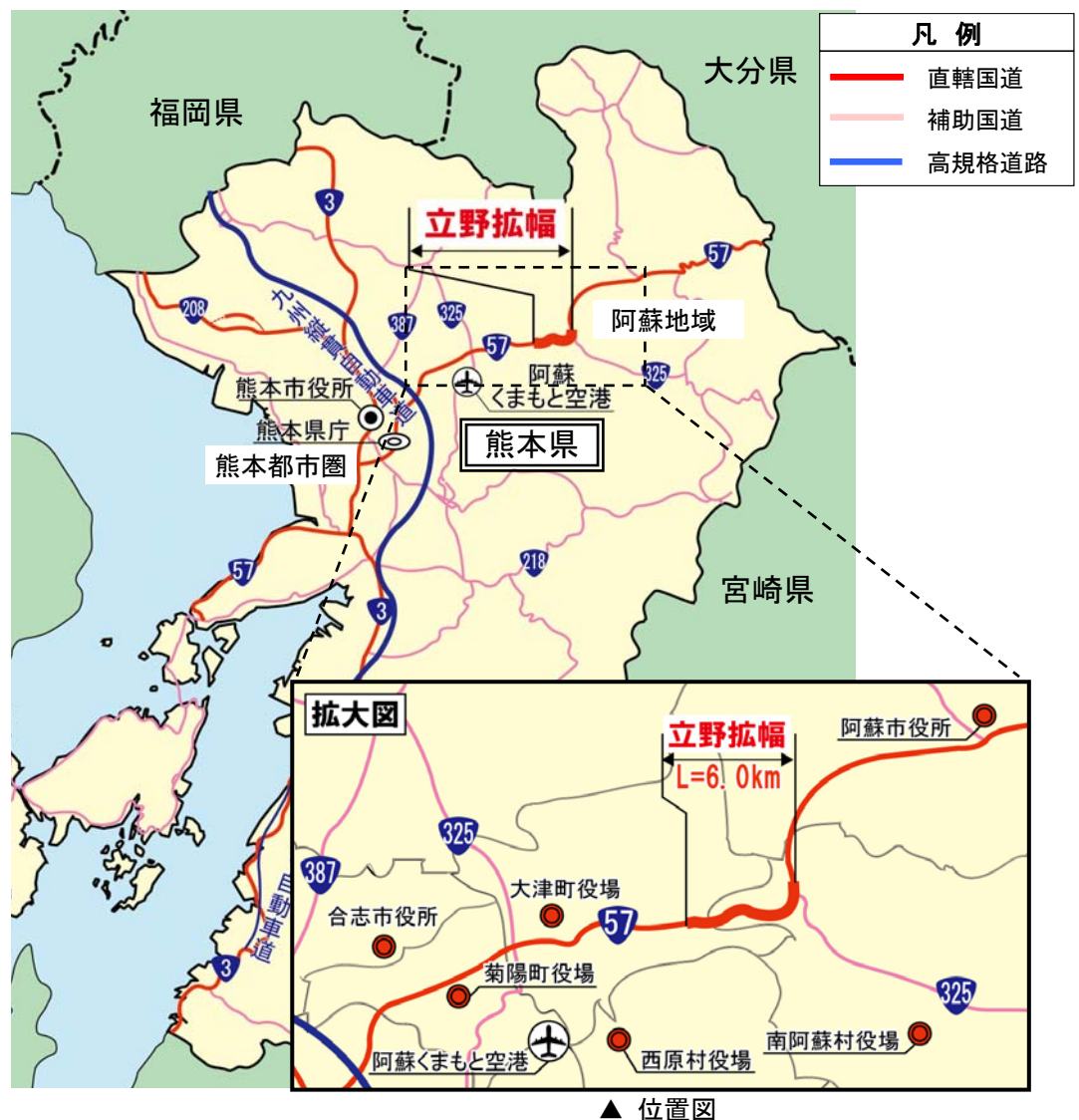
国道 57 号は、大分県大分市を起点として熊本県宇城市に至り、海上区間を経て長崎県島原市から長崎市に至る延長約 212km の重要な幹線道路である。

本路線は、九州中央部の主要都市を東西に結び、物流や人の交流の上で重要な役割を担っている。

さらに、国際観光拠点である阿蘇地域と熊本都市圏を結ぶ主要幹線道路であるとともに、阿蘇地域の住民にとっても生活を支える重要な路線である。

阿蘇外輪山付近の区間では、急な上り勾配が連続しており、走行性に支障が見られ、特に観光シーズンや休日には、県内外からのマイカー等による観光客が集中するため、交通渋滞が発生し、沿線住民の生活に支障をきたしている。

このような状況にある国道 57 号阿蘇外輪山付近では、走行性の向上、交通混雑の緩和による交通の円滑化を図る道路整備が求められている。



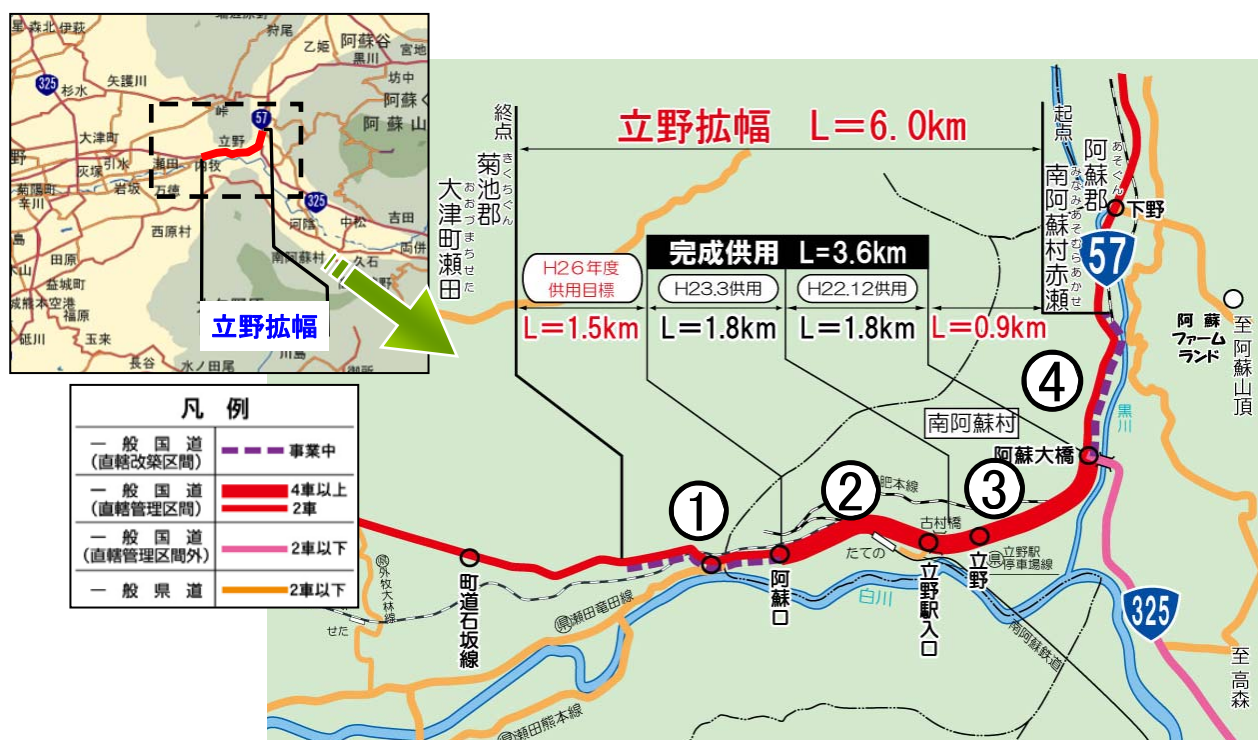
(2) 国道 57 号 立野拡幅の概要

国道 57 号 立野拡幅は、熊本県阿蘇郡南阿蘇村～同県大津町間の国道 57 号の交通渋滞の緩和と国際観光拠点である阿蘇地域の活性化への寄与を目的とした 4 車線拡幅事業である。

1) 計画諸元

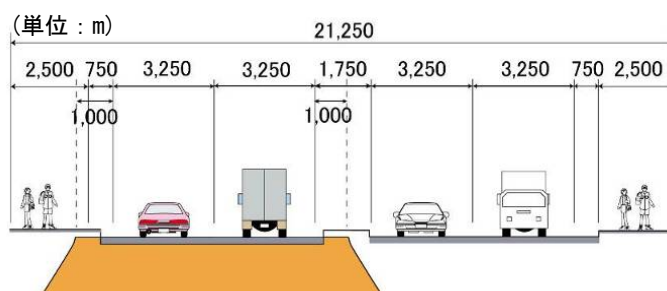
事業名		国道57号 立野拡幅
区間	起点	あそぐんみなみあそむらあかせ 阿蘇郡南阿蘇村赤瀬
	終点	きくちぐんおおづまちせ た 菊池郡大津町瀬田
延長		L = 6.0km
幅員		W = 21.25m
構造諸元	車線数	4車線
	構造規格	第3種第2級
	設計速度	V = 60km/h
計画交通量(H42)		①23,400台/日 ②24,400台/日 ③25,600台/日 ④21,100台/日

2) 事業評価区間



▲ 事業概要図

3) 標準横断図(現況及び完成 4 車線)



※着色断面: 現況 2 車線幅員



▲ 立野拡幅（阿蘇口交差点⇒大津方面）

2. 事業の必要性

(1) 事業を巡る社会情勢等の変化

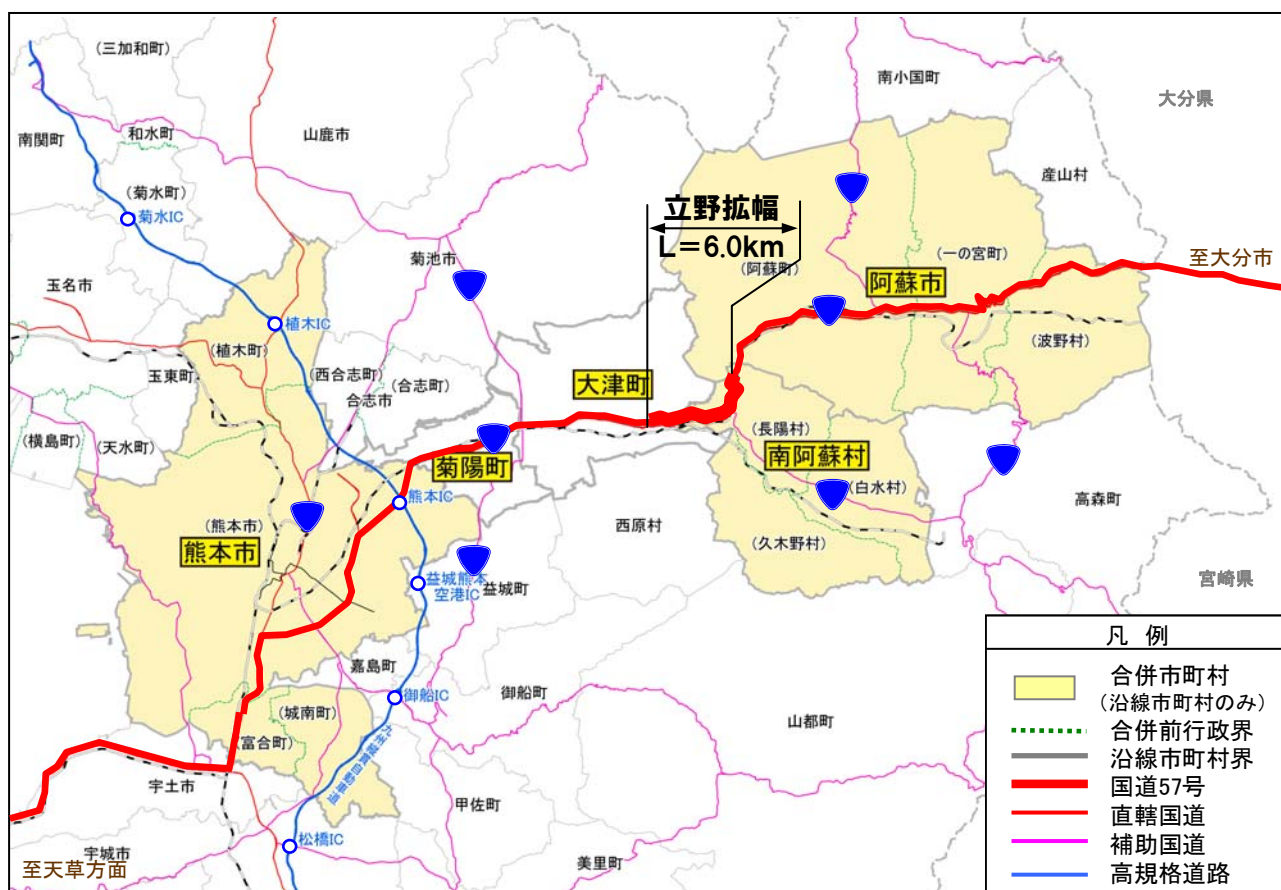
1) 沿線地域の社会・経済情勢

① 市町村合併の状況

国道 57 号沿線市町村では合併が進められており、熊本市、阿蘇市、南阿蘇村が新しい市町村として誕生しており、熊本市は政令指定都市に移行している。

▼ 沿線市町村の合併状況

合併時期	合併後市町村	合併前市町村			H22居住人口 (国勢調査)
H17.2.11	阿蘇市	一の宮町	阿蘇町	波野村	28,452
H17.2.13	南阿蘇村	白水村	久木野村	長陽村	11,978
H20.10.6	熊本市	熊本市	富合町		734,294
H22.3.23		熊本市	植木町	城南町	
—	菊陽町	合併なし			37,741
—	大津町	合併なし			31,236



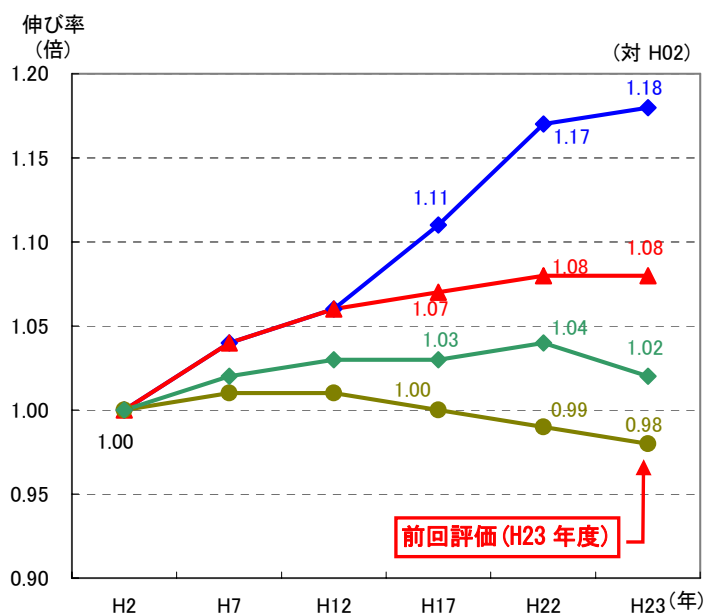
▲ 国道57号沿線市町村の合併状況

※ 国道57号沿線市町村：熊本市、菊陽町、大津町、南阿蘇村、阿蘇市

② 人口の推移

立野拡幅の事業地沿線地域である大津町、菊陽町、阿蘇市、南阿蘇村の4市町村の人口は、全国や熊本県よりも大きな伸びを示しており、ここ約20年間(H2→H23)で約1.2倍に増加している。

中でも菊陽町の人口増加が著しく、H17→H22の増加率は全国区の市町村で第2位となっている。



〈全国第2位〉

【参考】
平成22年国勢調査

■ H17⇒H22居住人口伸び率
※人口1万人以上の市町村対象集計

〈全国順位〉

〈増加率〉

第1位：東京都中央区：24.8%

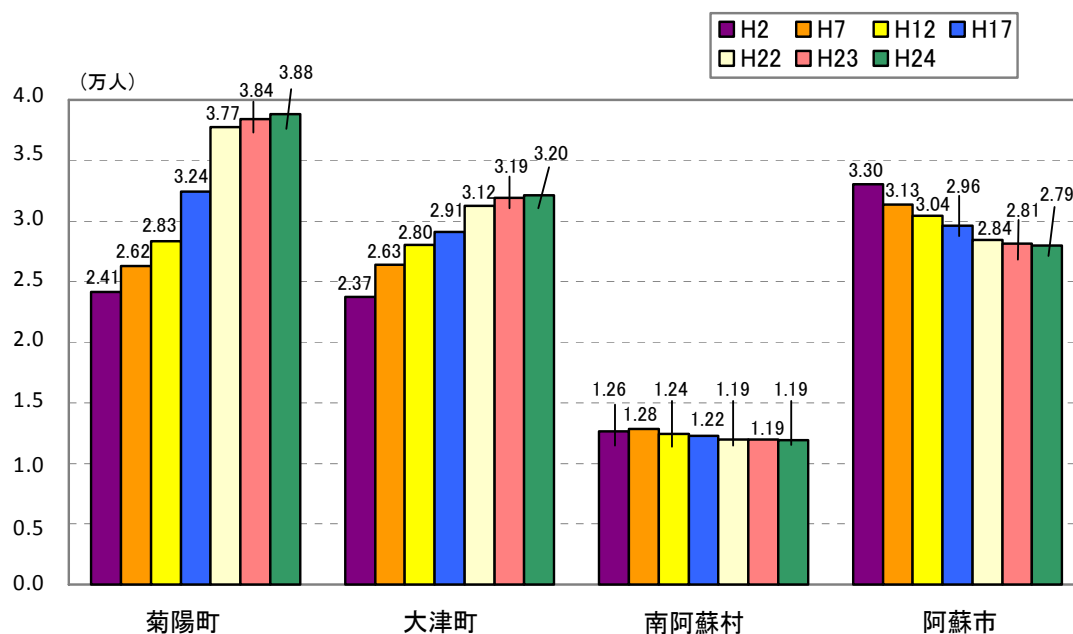
第2位：熊本県菊陽町：16.4%

第3位：茨城県守谷市：16.3%

※九州内市町村の次点

第12位：福岡県粕屋町：11.5%

▲ 居住人口の推移



▲ 立野拡幅沿線地域の市町村別人口の推移

資料 H2～H22 国勢調査

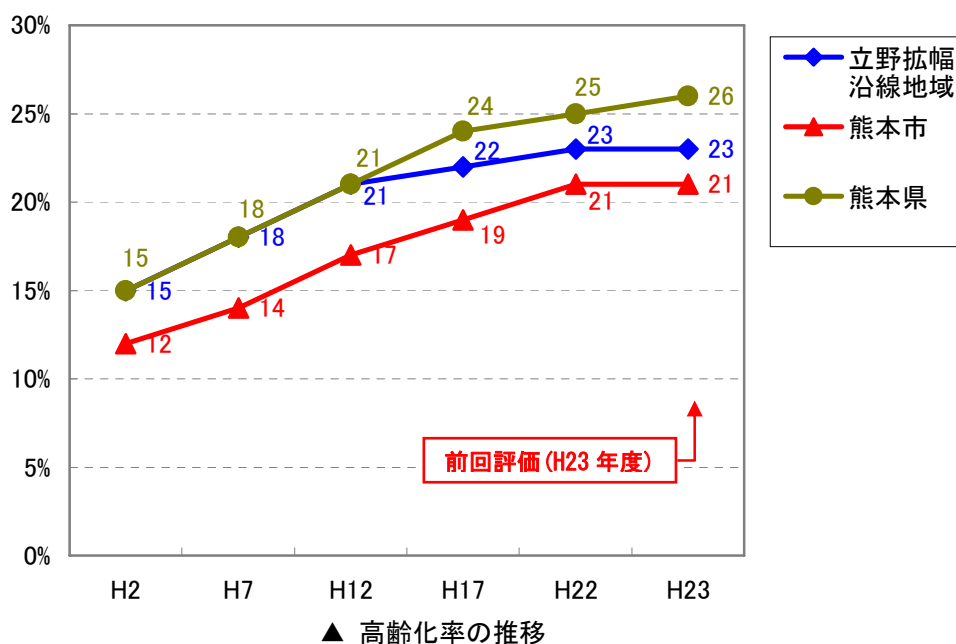
H23～H24: 熊本県の人口と世帯数

※ 熊本市は旧熊本市・富合町・城南町・植木町の合計

立野拡幅沿線地域は菊陽町・大津町・阿蘇市・南阿蘇村の合計

③ 高齢化の推移

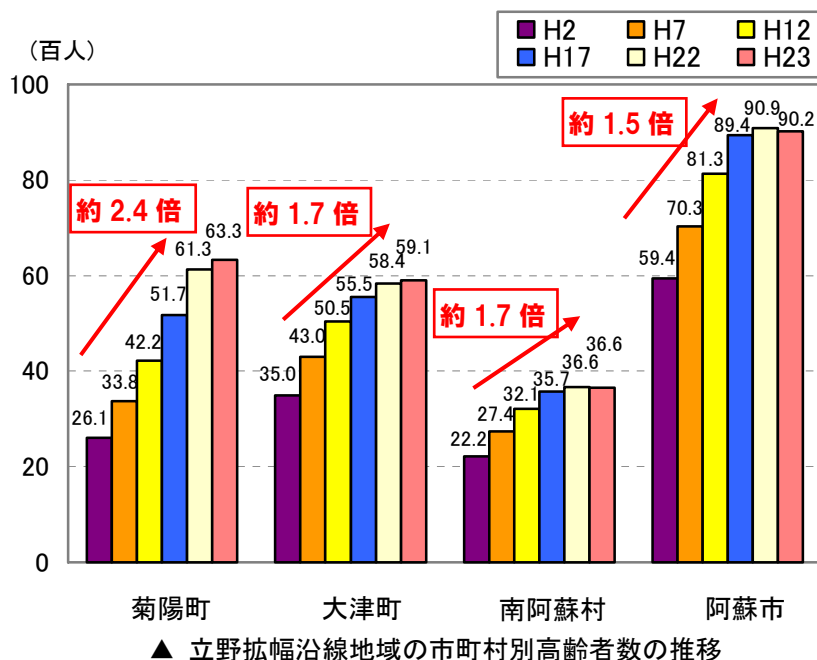
沿線地域（4市町村）では「高齢社会」を15年以上前から向かえており、年々進行の高齢化の一途を歩み、平成12年以降は『超高齢社会』となっている。
特に、菊陽町で高齢者数の増加が著しく、15年間で約2倍に増加している。



▼ 高齢化の定義

区分	高齢化率
高齢化社会	7%～14%
高齢社会	14%～21%
超高齢社会	21%～

資料：WHO（世界保健機関）の定義



資料：H2～H22：国勢調査

H23：熊本県の人口と世帯数

注）熊本市：旧熊本市、富合町、植木町、城南町の合計

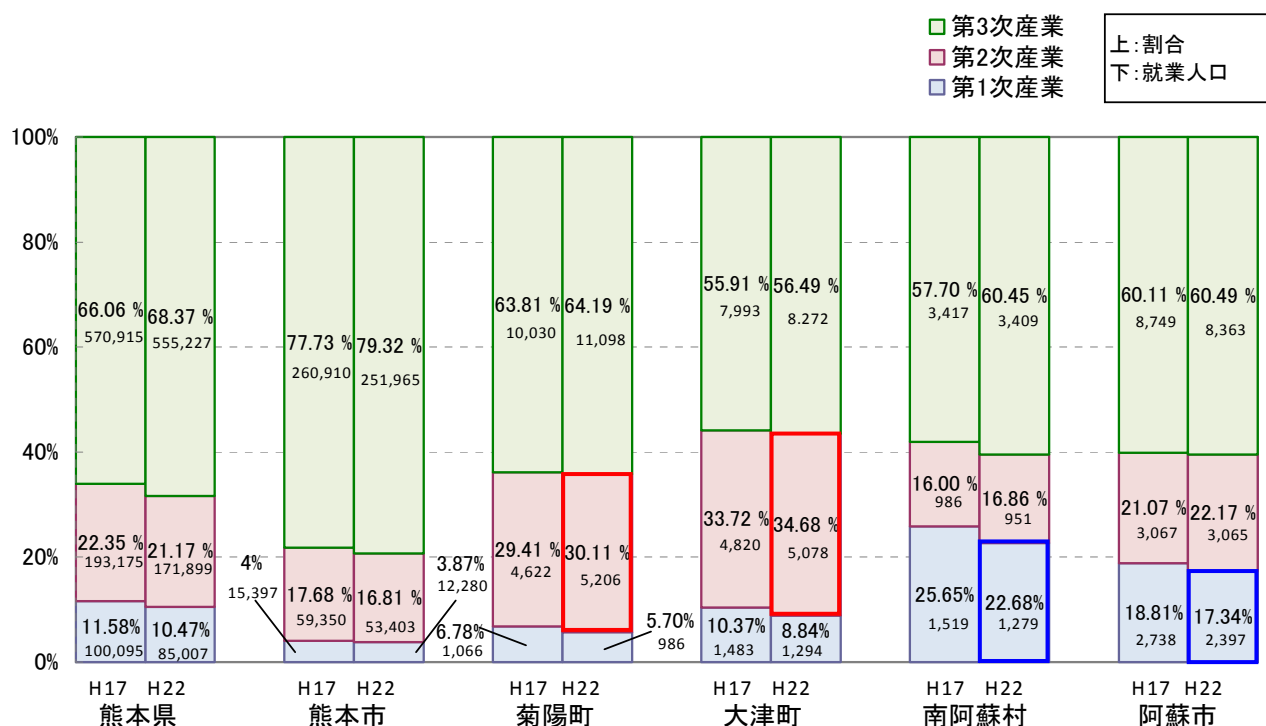
※ 高齢化率：総人口に対する年齢65歳以上人口の割合

※ 立野広幅沿線地域は菊陽町・大津町・阿蘇市・南阿蘇村の合計

④ 就業人口の現状

工業団地や大手製造業の企業が集積している「大津町」、「菊陽町」では、第2次産業の就業者割合が県平均よりも高く、「大津町が約35%」、「菊陽町が約30%」を占めている。

広大な自然環境を持つ「阿蘇市」や「南阿蘇村」では、第1次産業への就業者割合が県平均よりも高く、「阿蘇市で約17%」、「南阿蘇村では4人に1人(約23%)」が就業している。



▲ 産業分類別就業人口の割合

資料：国勢調査

※ 立野拡張：前回評価(H23年度)

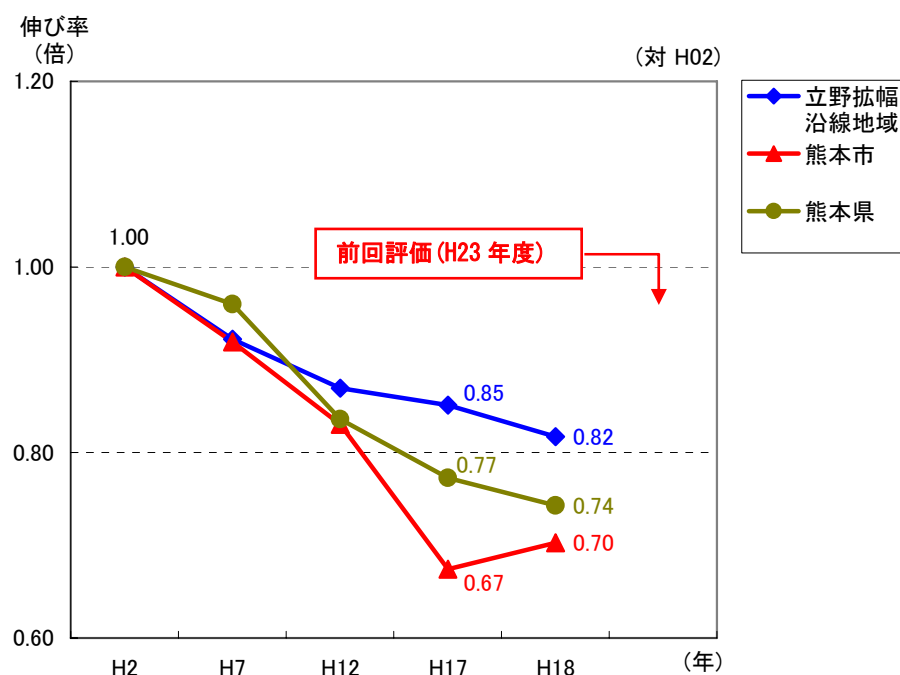
注) 熊本市：旧熊本市、富合町、植木町、城南町の合計

⑤ 地域産業の動向

【農業の状況】

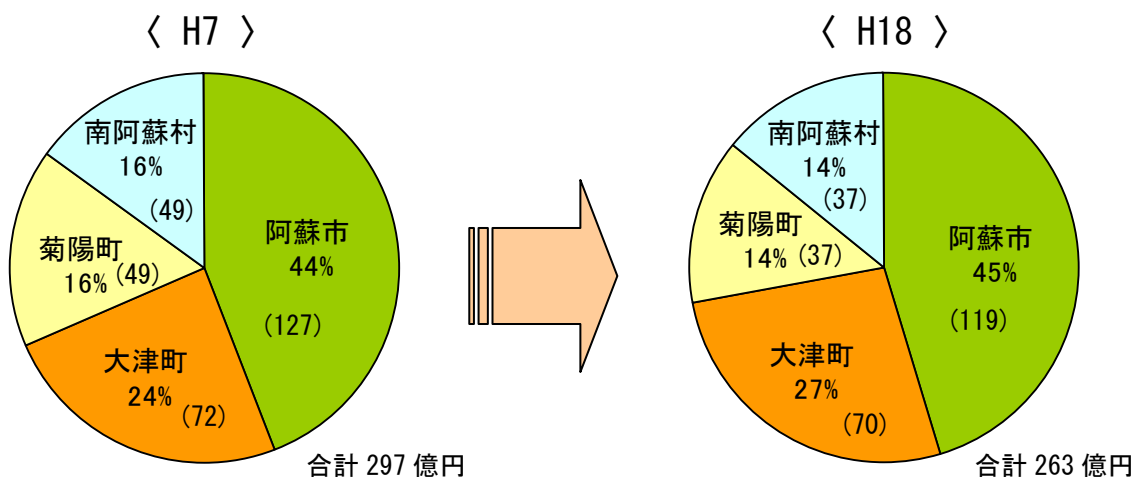
農業産出額は、熊本県、熊本市を含む沿線地域ともに、ここ 15 年ほど減少傾向を示しているが、立野拡幅沿線 4 市町村の減少割合は、県全体や熊本市よりも緩やかである。

なお、沿線地域内(4 市町村)のシェアを見ると、ここ 10 年の変動は殆どなく、阿蘇市の農業産出額が最も多くなっており、阿蘇市と大津町で沿線地域の 7 割を占めている。



▲ 農業産出額の推移

資料：熊本県統計年鑑 (S60～H18)、農業産出額及び生産農業所得
調査期間 各年 1 月 1 日～12 月 31 日



▲ 立野拡幅沿線地域内の農業産出額のシェア (H7→H18)

注 1) ()内は、市町村別農業産出額(億円/年)

資料：生産農業所得統計 (H7, H18)

調査期間 各年 1 月 1 日～12 月 31 日

注2) 熊本市: 旧熊本市, 富合町, 植木町, 城南町の合計

立野拡幅沿線地域は菊陽町・大津町・阿蘇市・南阿蘇村の合計

【工場立地状況】

国道 57 号沿線地域には、「セミコンテクノパーク」、「熊本中核工業団地」をはじめとする工業団地が集積しており、自動車や半導体関連企業が多く進出している。

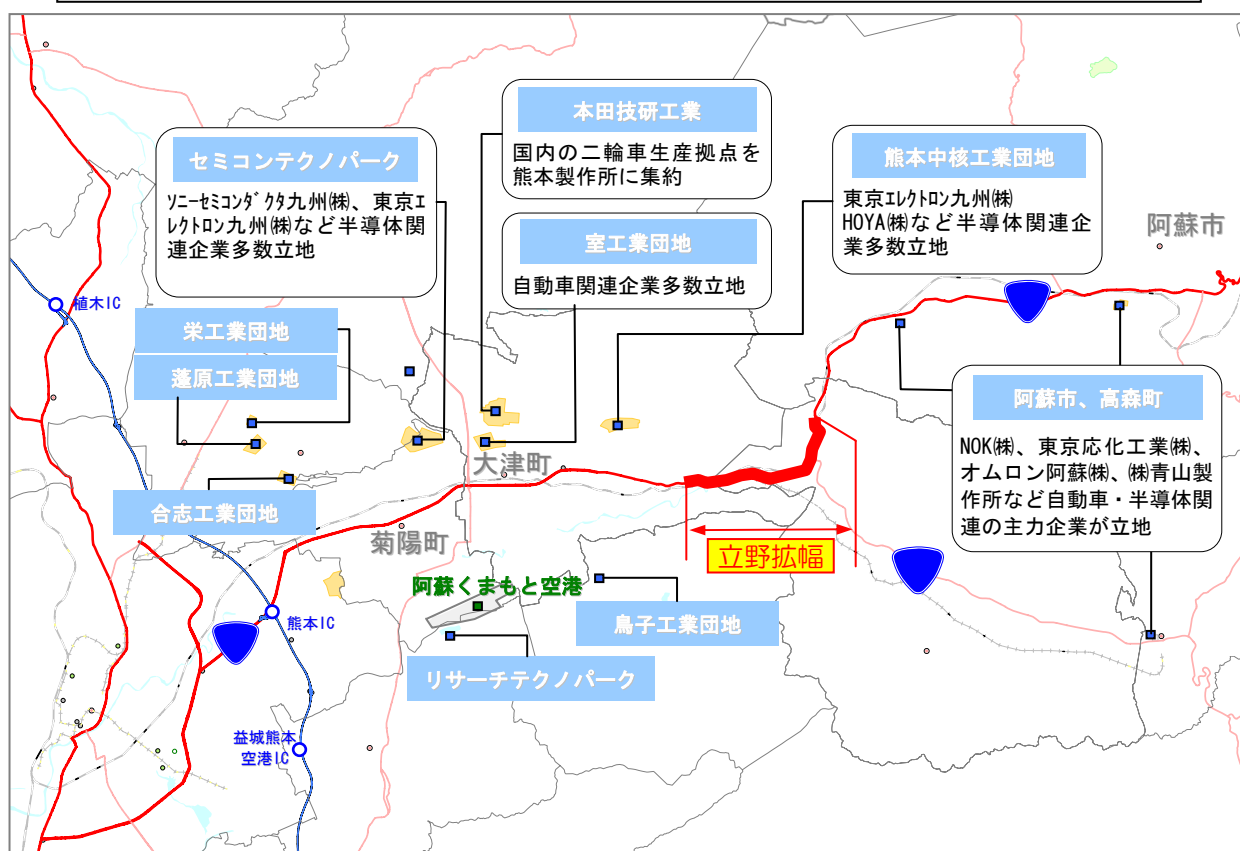
また、企業における生産拠点としての機能集約や増床計画が進展しており、当該地域の位置づけが高まっている。

【機能集約】

- ・ 本田技研工業では、熊本製作所を二輪車および汎用機の世界のマザー工場として位置づけ生産機能を集約。

【増床計画など】

- ・ H18 年以降、東京エレクトロン九州(株)、ソニーセミコンダクタ九州(株)が増床。本田技研工業熊本製作所では増床予定。

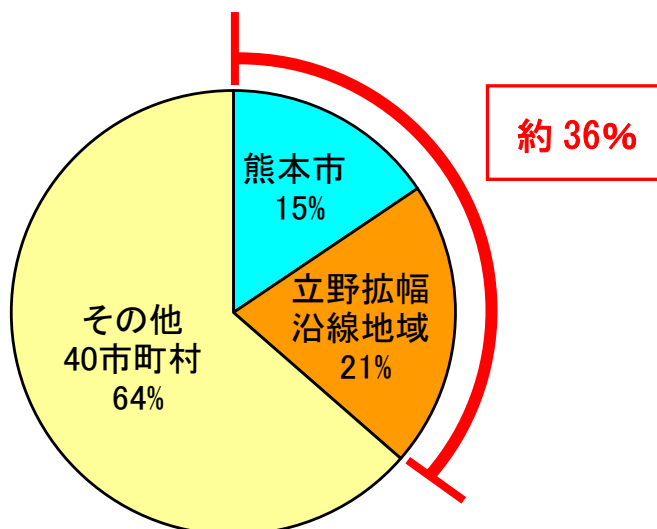


▲ 国道57号沿線の主な工業団地立地状況

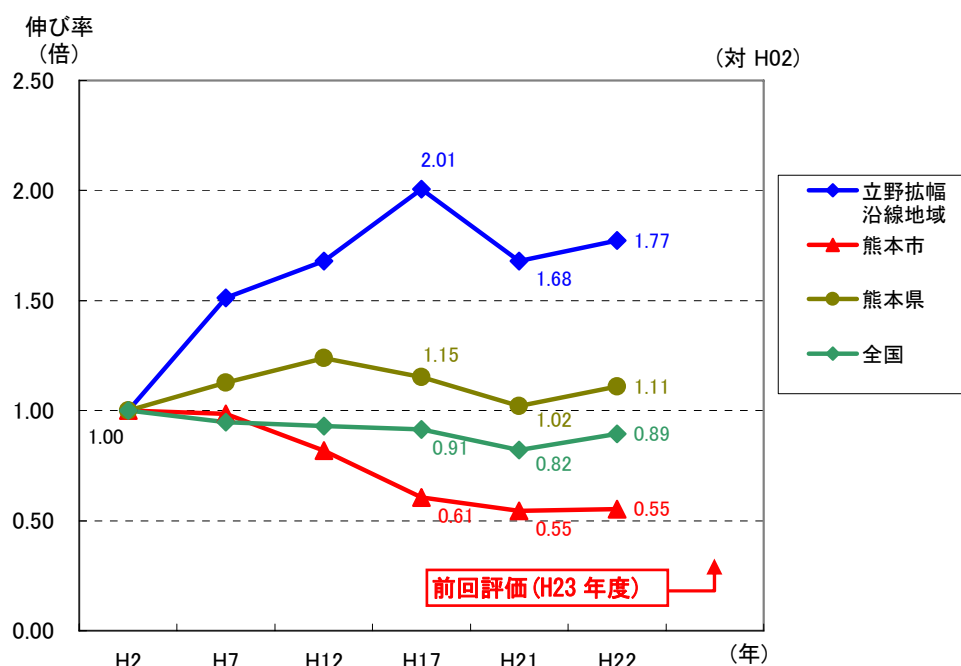
【製造業の状況】

国道57号沿線の熊本市と立野拡幅沿線地域(4市町村)における製造出荷額の県内シェアは約36%であり、県内の工業を牽引する地域となっている。

立野拡幅沿線地域の約20年間の伸びは、全国や県平均を大きく上回り、最新のH22年ではH2年に対して約1.8倍の伸びを示している。



▲ 製造品出荷額(熊本県内)のシェア(H22)



▲ 製造品出荷額の伸び率

資料：工業統計調査(H2～H22)

調査期間 各年1月1日～12月31日

注) 熊本市:旧熊本市, 富合町, 植木町, 城南町の合計

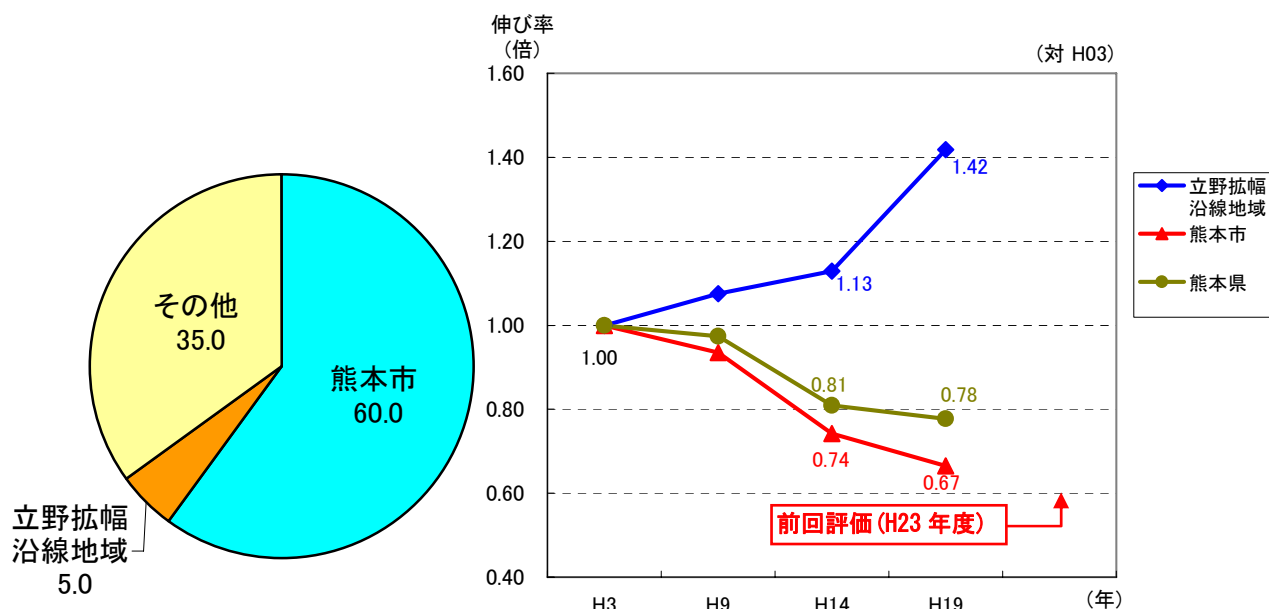
立野拡幅沿線地域は菊陽町・大津町・阿蘇市・南阿蘇村の合計

【商業の状況】

商品販売額では、熊本市が県内シェアの約6割を占め、一極集中の状況にある。

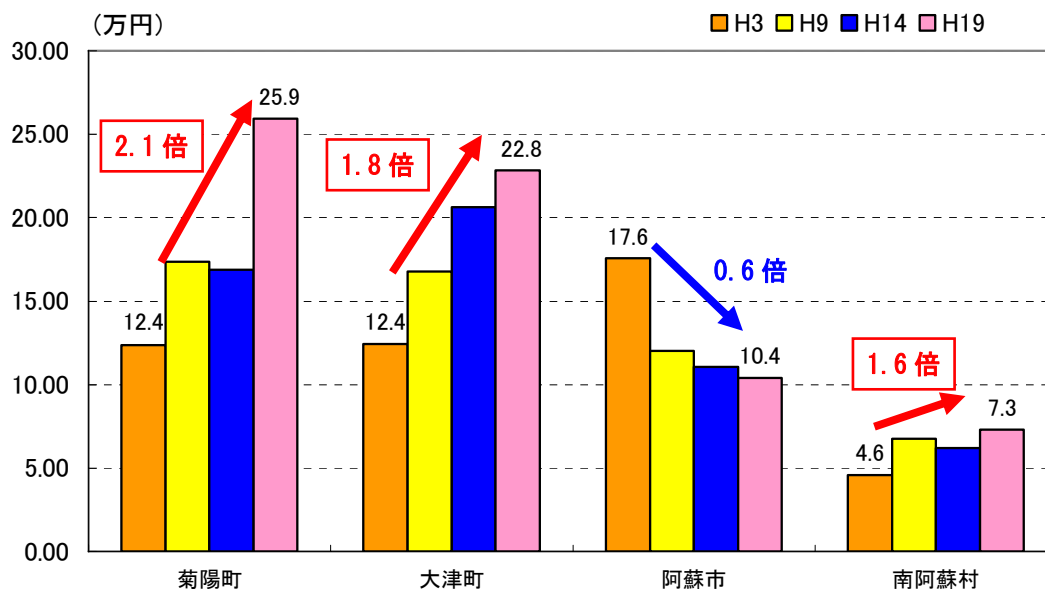
近年では、熊本市における人口1人当たりの商品販売額が減少する中で、立野拡幅沿線地域の人口1人当たりの商品販売額は著しい増加を示しており、特に菊陽町、大津町ではH3→H19の16年間で約2倍に高まっている。

これらは、菊陽町の光の森地区や大津町の国道沿線への大型商業施設等の進出が要因の一つと考えられる。



▲ 商品販売額(熊本県内)のシェア (H19)

▲ 居住人口1人あたり商品販売額の伸び率



▲ 居住人口1人あたり商品販売額の推移(立野拡幅沿線地域)

資料：商業統計調査 (H3～H19)

熊本県推計人口調査 (H3～H19)

調査期間：【商品販売額】各年4月1日から翌年の3月31日

【居住人口】各年10月1日現在

※ 熊本市は旧熊本市・富合町・城南町・植木町の合計

立野拡幅沿線地域は菊陽町・大津町・阿蘇市・南阿蘇村の合計

【観光産業の状況】

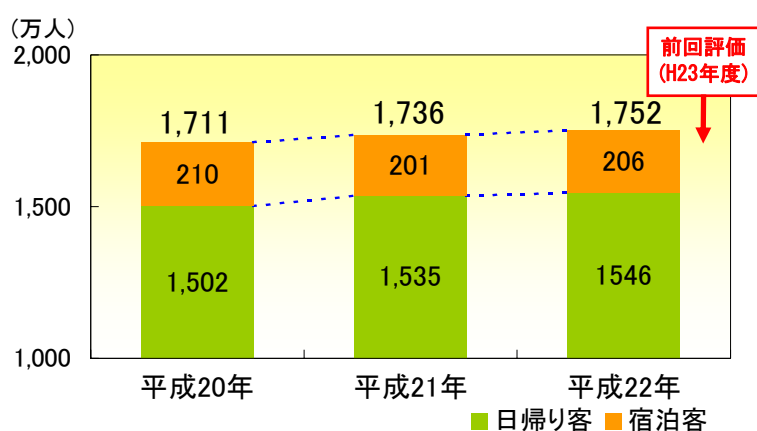
・観光入込み客数の推移

阿蘇くじゅう国立公園を有する阿蘇地域は、年間 1700 万人以上が来訪する全国でも有数の観光拠点である。

また、月別の観光入込み客数は、GWや夏・秋季の観光期に 150 万人/月以上が来訪しており、年間を通じて観光需要の高い地域となっている。

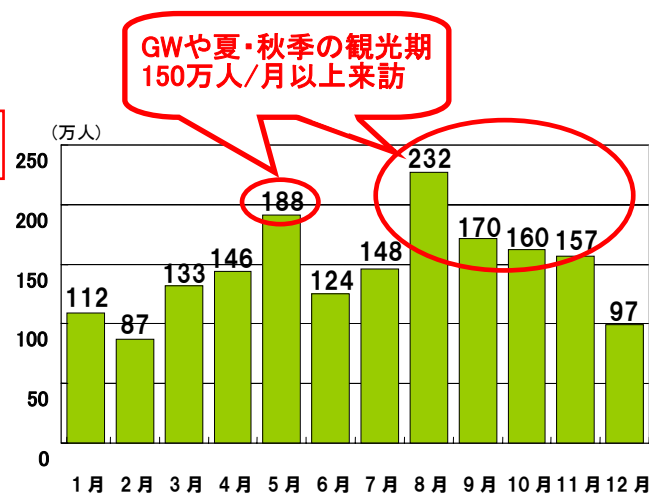
なお、観光入込み客数は平成 20 年度以降ほぼ横ばい状況にあるが、集客力の高い施設の立地や外国人観光客からの宿泊人気などを踏まえると、今後も需要増加が期待できる地域だと言える。

※ 阿蘇地域：阿蘇市、南阿蘇村、高森町、西原町、小国町、南小国町、産山村



▲ 阿蘇地域 観光入込み客数推移

資料：熊本県観光統計表
(H20～H22)

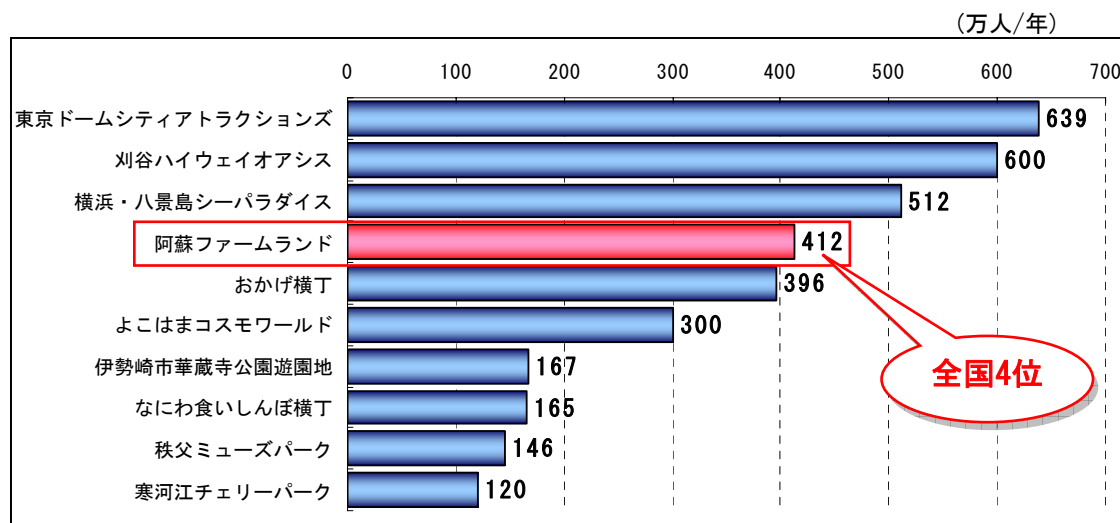


▲ 阿蘇地域の月別観光入込み客数 (H22)

資料：熊本県観光統計表 (H22. 1. 1～H22. 12. 31)

■集客力の高い施設の立地

国道57号沿線地域には全国でも有数の観光入込み客数を誇る『阿蘇ファームランド』が立地しており、平成19年では年間412万人が来訪しており、今後も利用増が期待される。



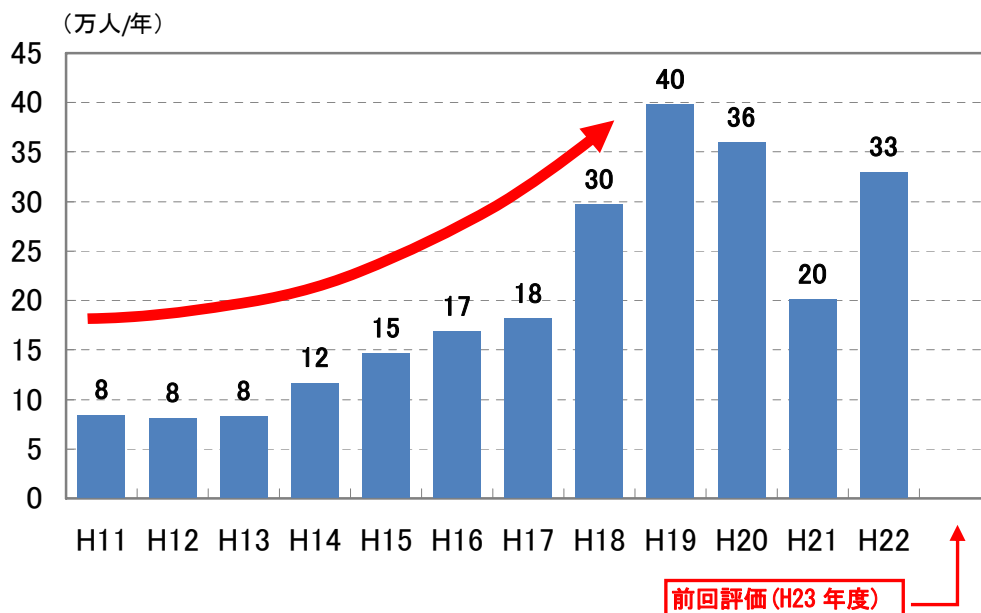
▲ 入場無料施設入込み客数 (H19)

資料：レジャー・集客施設ランキング2008, 総合ユニコム

【外国人観光客の推移】

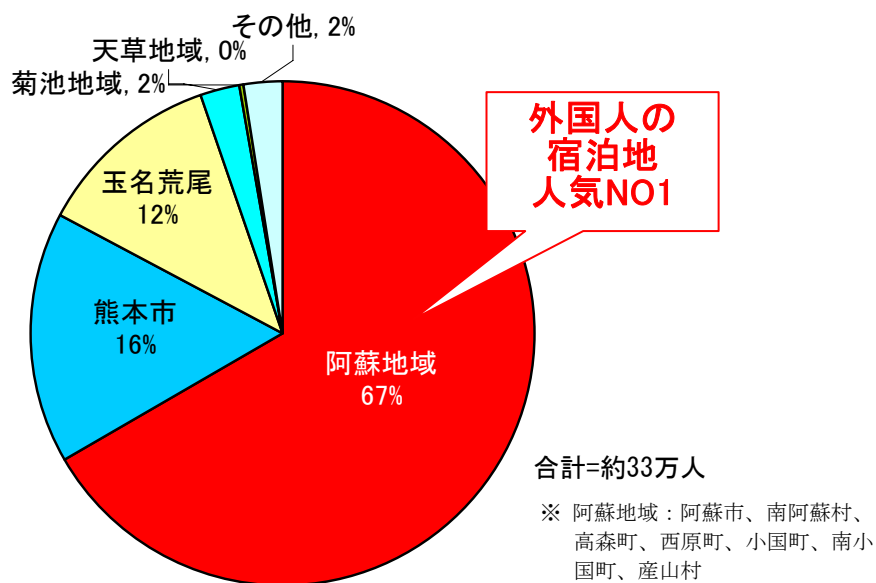
熊本県への外国人観光客数は、H11年以降、年々増加傾向を示していたが、H19年をピークに減少傾向にある。

但し、熊本県内に宿泊する外国人のうち約6割が阿蘇地域を宿泊地として選択しており、外国人の方の宿泊地として阿蘇地域の人気は高い。



▲ 熊本県の外国人観光客(宿泊)の推移

資料：熊本県観光統計表(H11～H22)



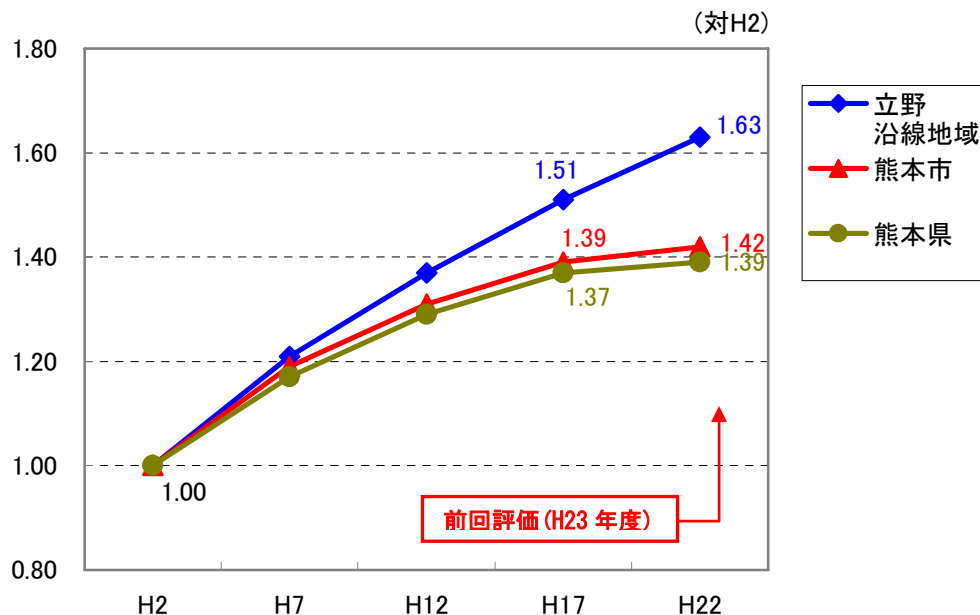
▲ 外国人観光客の宿泊地域シェア（熊本県内：H22）

資料：熊本県観光統計表(H22)

⑥ 自動車保有台数の推移

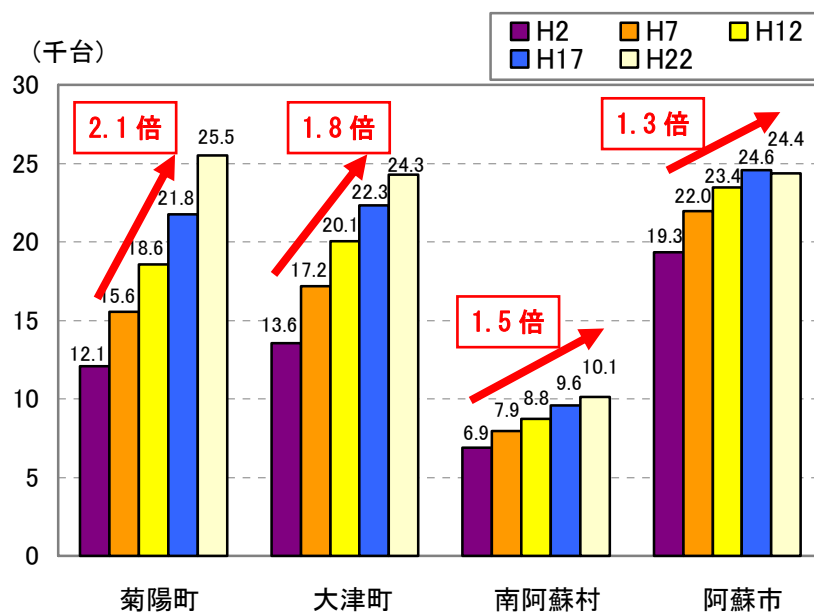
立野拡幅の沿線地域(4市町村)における自動車保有台数は、県平均を大きく上回り、約20年間で約1.6倍に増加している。

特に、菊陽町、大津町の伸びは顕著であり、平成2年から約2倍近くの伸びを示している。



▲ 自動車保有台数の伸び率

注) 熊本市は旧熊本市・富合町・城南町・植木町の合計。



▲ 立野拡幅沿線地域市町村別の自動車保有台数の推移

資料：市区町村別自動車保有車両数，(財)自動車検査登録情報協会 (H2～H22)

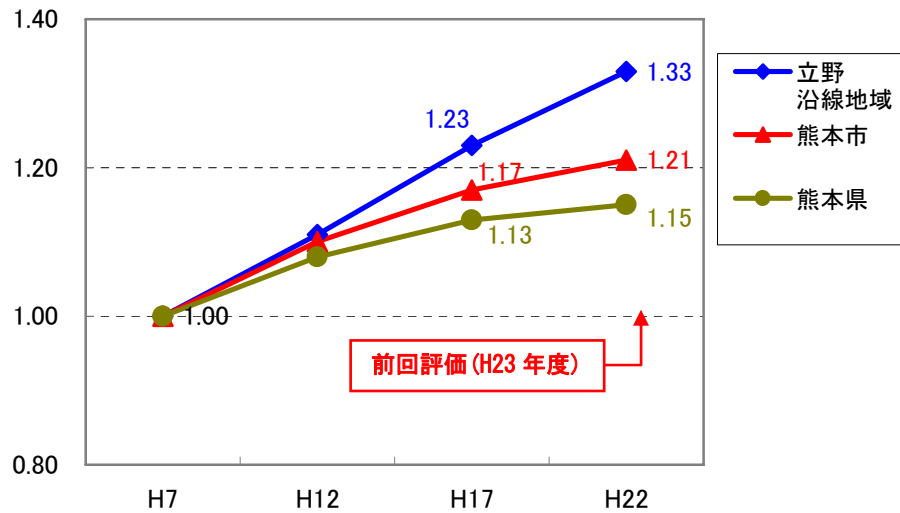
市区町村別軽自動車車両数，(社)全国軽自動車協会連合会 (H2～H22)

※ 台数は、各年度末現在の保有台数。

⑦ 運転免許保有者数の推移

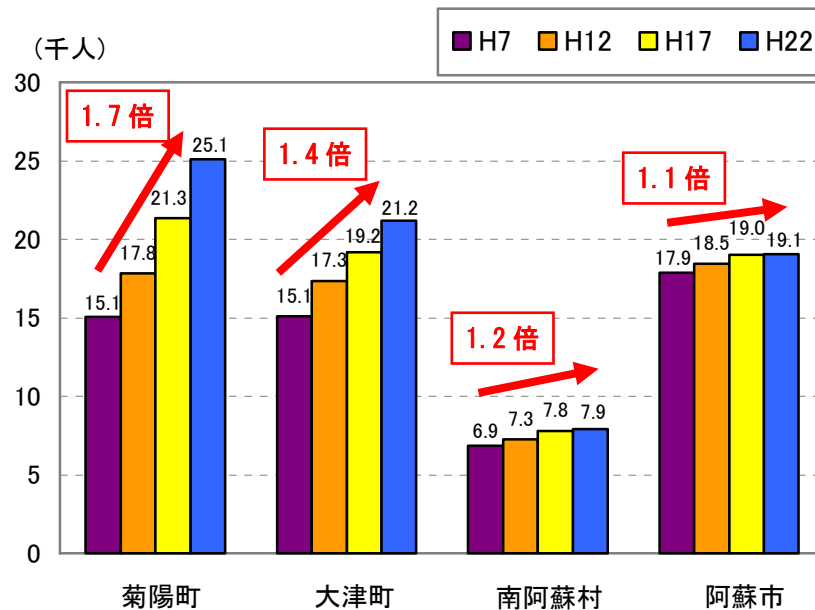
立野拡幅の沿線地域(4市町村)における運転免許保有者数は、県平均を上回る伸びを示している。

特に、菊陽町、大津町では県平均を大きく上回る伸びを示しているものの、南阿蘇村は県平均と同程度であるが、阿蘇市は下回る水準にあり、ここにも少子高齢化の進行状況が伺える。



▲運転免許保有者数の伸び率

注) 熊本市は旧熊本市・富合町・城南町・植木町の合計



▲立野拡幅沿線地域の市町村別運転免許保有者数の推移

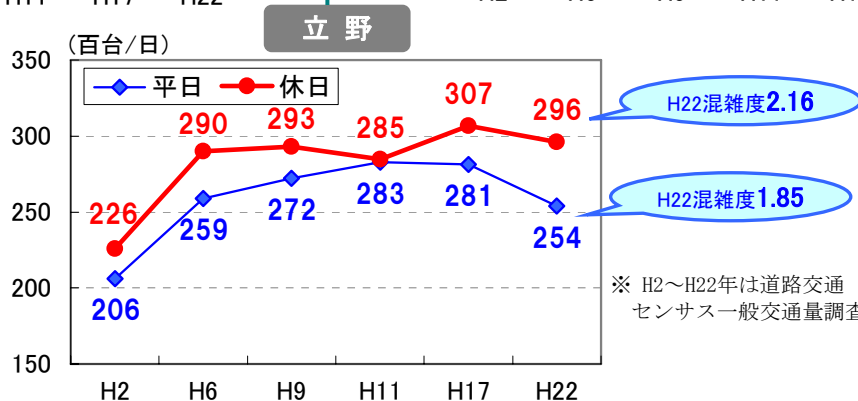
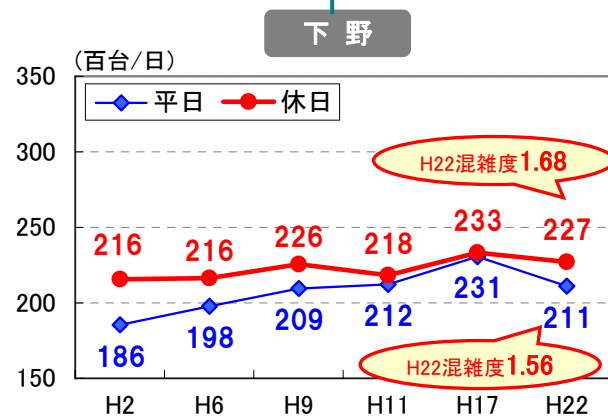
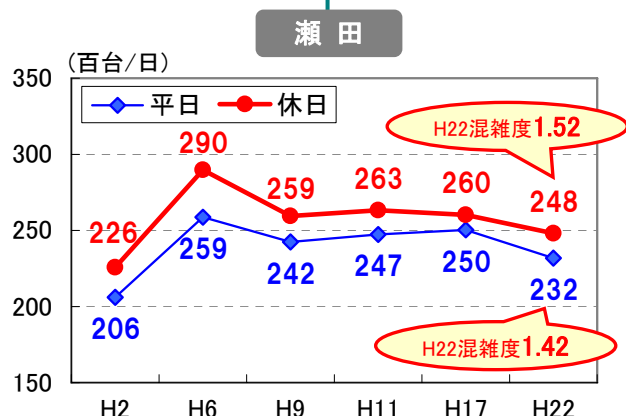
資料：交通要覧、熊本県警察本部交通部 (H7～H22)
調査時期：各年12月末

2) 沿線地域の道路交通の情勢

① 平日・通常の休日における交通情勢

立野拡幅区間の交通需要は非常に多く、平成 22 年の平日交通量は 2 万 5 千台/日で混雑度は 1.5 以上となっており、交通容量を大幅に超過している。

当該区間は観光地域へのアクセス道路となっていることから、休日の交通量は平日よりも更に増加しており、休日の交通容量不足も問題となっている。



3) 慢性化する渋滞

① 観光期（GW）における最大渋滞長

立野拡幅区間内を起点とする交通渋滞が慢性化しており、特に、観光期を含む休日の交通渋滞が著しい状況にある。

上り方向・下り方向ともに立野拡幅区間内の阿蘇口交差点付近・立野交差点を起点とした渋滞が発生していたものの、阿蘇大橋交差点～阿蘇口交差点間(3.6km)の完成4車線供用により、平成23年5月のゴールデンウィーク(GW)には、それらの交差点における渋滞発生は現れていない。

但し、国道57号上り方向では、残事業区間にあたる瀬田サグ部を起点とした8.3kmの渋滞が発生しており、下り方向では、下野交差点を起点とした9.5kmの渋滞が現在でも観測されている。

▼ 渋滞長の状況



① 大林付近(上り:GW)の渋滞



撮影: H23.5.3

② 瀬田付近(上り:GW)の渋滞



道路-1-17 撮影: H23.5.3

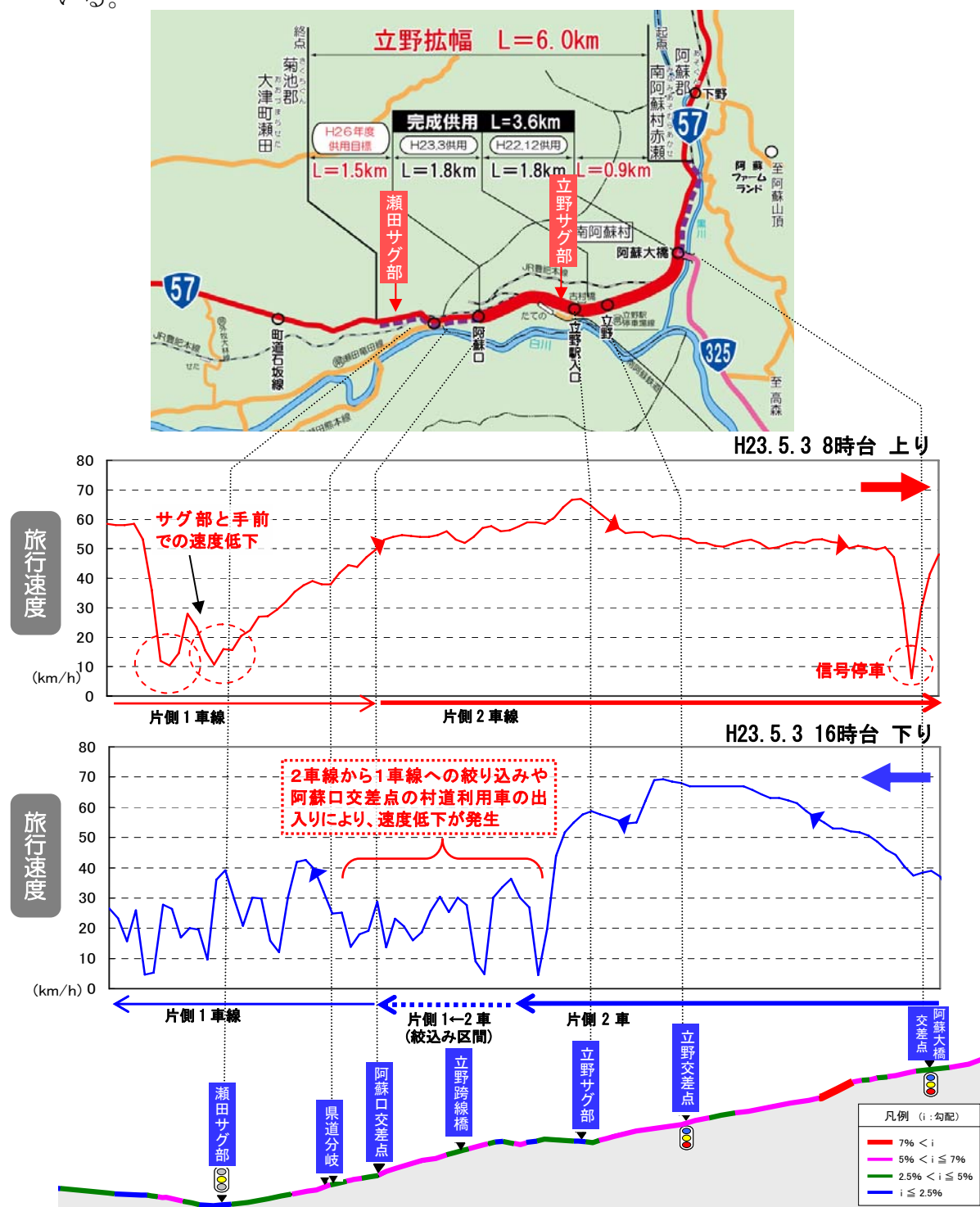
③ 立野付近(上り:GW)の渋滞解消



撮影: H23.5.3

② 観光期（GW）におけるサグ部の旅行速度

立野拡幅区間の上り方向には、瀬田付近に縦断勾配が変化する区間(サグ)があり、下り方向には立野付近において車線減少箇所があり、旅行速度が低下している。



《サグ (Sag) とは》

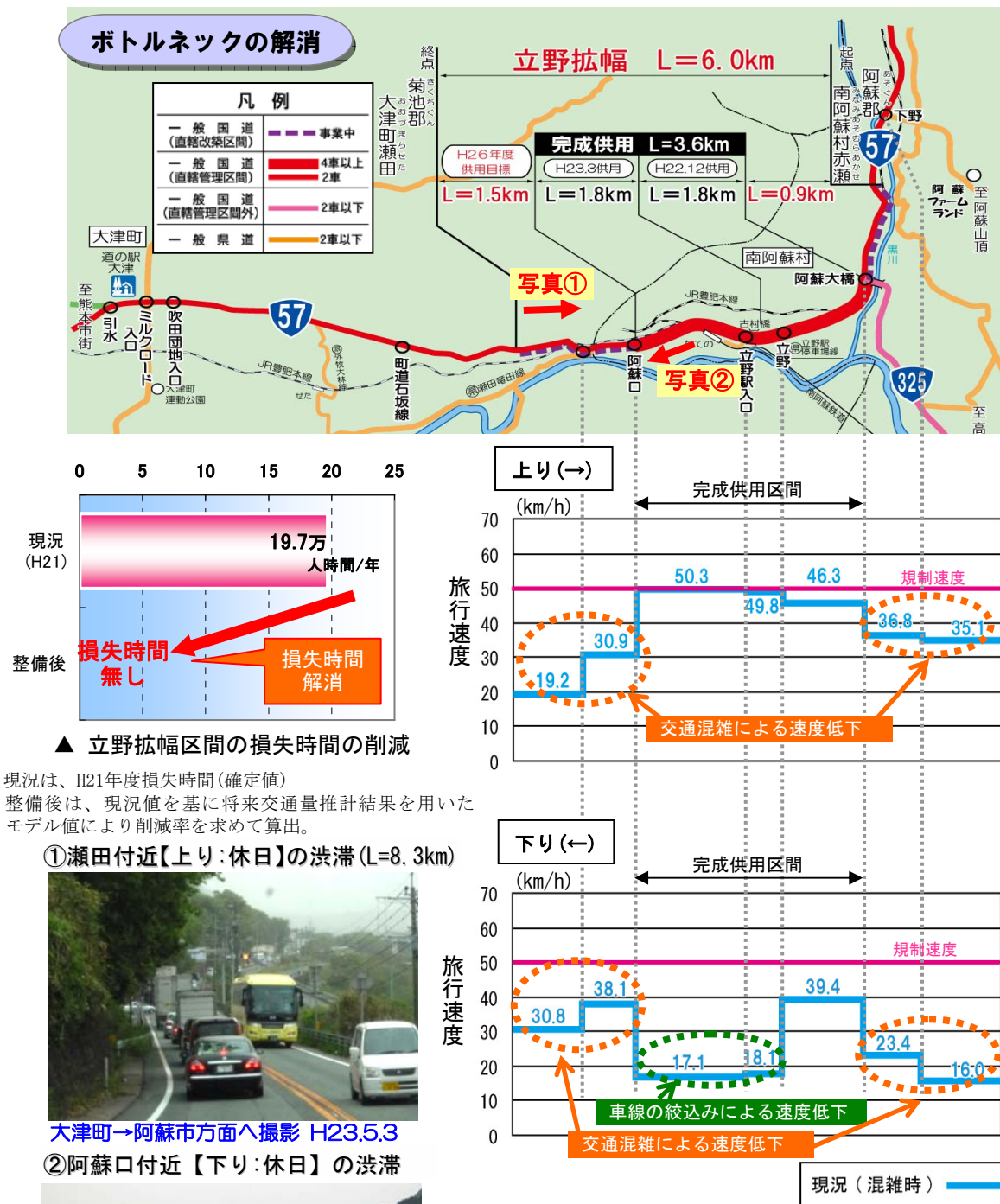
下り勾配から上り勾配へと変化する道路区間のことをサグという。気付かないうちに速度が低下する車があり、後続の車との車間距離が縮まることから次々に後続の車がブレーキを踏むことにより渋滞が起こる。



(2) 事業の効果・必要性

効果1 交通混雑の緩和

立野拡幅区間の整備によるボトルネックの解消により、平日はもとより、休日を中心とする慢性的な渋滞の解消・緩和が期待される。



▲ 国道57号立野拡幅区間の旅行速度

※ 民間プローブデータ (H23)

効果2 観光支援

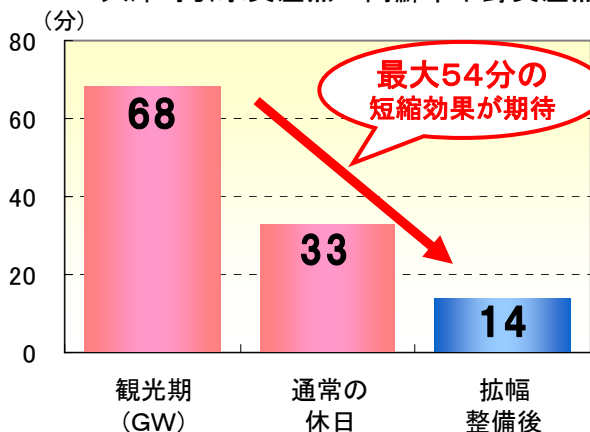
立野拡幅区間の整備によるボトルネックの解消により、観光者の時間的余裕が生まれる等から「観光誘致圏の拡大」や「散在する資源の周遊観光ルートの形成」が期待できる。



▲ 立野拡幅区間を利用する観光ツアー

所要時間短縮効果

大津町引水交差点⇒阿蘇市下野交差点



▲ 所要時間短縮効果

(大津町引水交差点～阿蘇市下野交差点)

※ 観光期(GW)はH23.5月実測値、通常の休日はH22.10月実測値。
 ※ 整備後：残事業区間の走行速度は設計速度60km/hで算出。
 残事業区間以外は、H23.5月実測値(8時台平均速度)を採用。

資料：JTB国内ツアー資料(H23年5月HP調べ)

※ JTBH23年春夏商品のうち、福岡市・北九州市から九州内を周遊する添乗員同行ツアーを抽出

利用者の声

- ・渋滞解消により時間に余裕を持てれば、立寄れる観光施設が増えたり、滞在時間が増加するだろう。
- ・観光産業の発展が阿蘇地域にとって重要であり、そのための道路整備は必要と考えている。

【観光バスドライバー、観光施設ヒアリング】



効果3 救急医療活動の支援

阿蘇消防本部管内における救急搬送の約 43%が管外搬送であり、全国平均の約 18%と比較して約 2.3 倍の水準にある。

管外搬送は、主に国道 57 号を利用して熊本市内や大津町内の救急病院へ搬送されている。

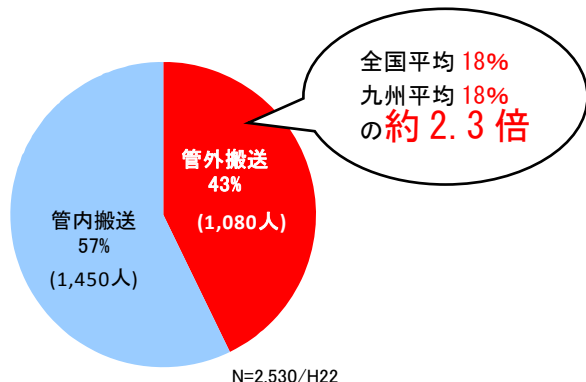
立野拡幅により、救急搬送の迅速化が図られ、阿蘇地域住民の安心した暮らしの確保が期待できる。

※ 管外搬送：阿蘇地域以外の病院へ搬送



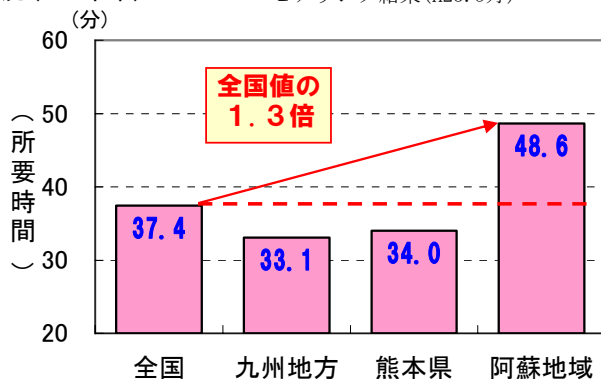
▲ 阿蘇消防本部管内の管外搬送状況 (H22年中)

資料：阿蘇広域行政事務組合消防本部へのヒアリング結果 (H23. 5月)



▲ 阿蘇消防本部の救急搬送の現状 (H22)

資料：阿蘇広域行政事務組合消防本部へのヒアリング結果 (H23. 5月)



▲ 救急搬送時間(平均値)の状況 (H22)

※ 九州地方は熊本県・沖縄県を除いた値。

資料：H22年版救急・救助の現況、総務省消防庁 阿蘇広域行政事務組合消防本部へのヒアリング結果 (H23. 5月)

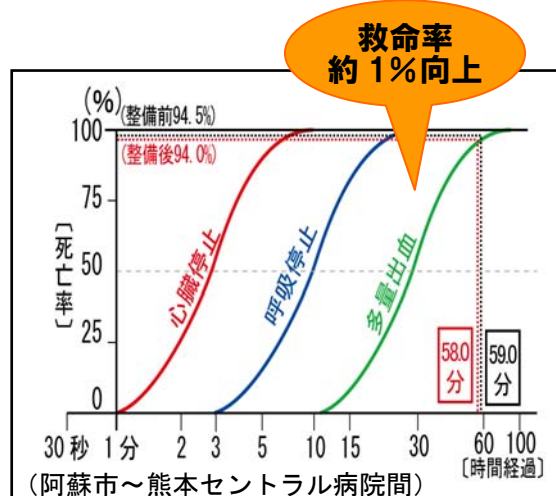
国道 57 号 立野拡幅の整備により、救急搬送の所要時間が短縮し、地域住民の安心した暮らしの確保が期待できる。

○阿蘇地域には、重篤救急患者の救命行為を行う高次救急医療施設(三次施設等)がなく、大津町の熊本セントラル病院や熊本市内の熊本赤十字病院などに依存している。

○対象道路の整備による「消防署から現場」「現場から高次医療施設」への所要時間の短縮により、道路整備の効果として救われる人命価値が考えられる。

○国道 57 号 立野拡幅の残事業の整備により、阿蘇市、南小国町、小国町、産山村の 4 市町村から大津町内の高次医療施設である熊本セントラル病院までの搬送時間の短縮が図られる。

短縮が図られる市町村のうち、阿蘇市では熊本セントラル病院までの所要時間が約 1 分短縮(約 59 分→約 58 分)され、多量出血時の救命率が約 1%向上する。



▲ カラーの救命曲線

高次救急医療施設までのアクセス向上が見込まれる受益者人口は、**約 54,400 人 (全事業)**
約 42,400 人 (残事業)



国道 57 号 立野拡幅の整備により、救急医療活動のアクセス向上便益は、全事業で約12億円
残事業で約2.4億円※と試算される。

※ は、供用後 50 年間の便益額として試算した値 (参考値)

効果4 地域産業の支援

◆物流ルートとしての機能向上

阿蘇地域には、国内トップシェアを誇る自動車部品工場や半導体関連工場が立地しており、九州管内をはじめ、我が国の産業を支える役割を担っている。

国道57号は物流上の動脈であり、立野拡幅の整備は、国道57号の交通混雑緩和を図り、定時性・速達性の向上に伴う原材料の到着の遅れをなくすなど製品生産スケジュールのリスク回避・低減などを支援する。



▲ 阿蘇地域の主要企業の物流ルート

※ H20年度ヒアリング調査結果

NOK(株)熊本工場

○リングの世界シェアNo.1（国内シェア80％）

- ・主な物流チャネルとして、福岡・佐賀、熊本空港、松橋（宇城市）、宮崎間での輸送を全てトラック輸送で行っており、国道57号を利用している状況。
- ・従業員のうち約100名が、大津町などから通勤。時間に余裕を持った通勤をしているのが実態である。
- ・繁忙期には土日の公休出勤があるが、国道57号の休日渋滞が非常に激しいため、通勤への影響が大きい。



※○リング（O-ring、オーリング）とは、断面が○形（円形）の環型をした密封用（シール用）機械部品のこと。

(株)青山製作所 熊本工場

自動車部品の『ボルト（6mm、8mm）』の製造で日本No.1

- ・出荷品の全てを国道57号（熊本方面）を利用して輸送しており、国道57号は動脈の道路である。
- ・従業員の約4割が大津町等から通勤。トレーラー等の大型トラックが入ると通勤時間への影響が大きい。20～30分程の余裕を持って通勤している状況。



利用者の声

- ・製造品の大部分は、**国道57号**を利用し輸送されており、**物流上の大動脈**である。
速達性や**安定性**につながる**早期の4車線化を強く要望**する。
- ・JR貨物の出発時間に間に合わせるなど、**定時性の確保**を求めている。
- ・自動車部品工場では、祝日に工場を稼働するため、**休日の渋滞による影響が大きい**。
- ・原料調達のため、タンクローリを使用しているが、**急勾配区間では低速走行となり一般車両へ迷惑**を掛けている状況も「**4車線化**」により解消される。
- ・**熊本市とのアクセスが向上**することにより、**求人面でも良い効果**が生まれると思う。

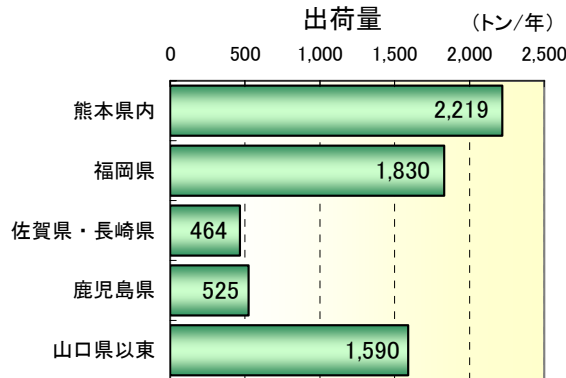
【阿蘇地域立地企業】

※ H20年度ヒアリング調査結果

◆農産品の物流機能向上

阿蘇地域では、熊本県を代表する「トマト」や「キャベツ」などの栽培が盛んであり、大部分の農産品が国道57号を利用して熊本県内だけでなく、福岡や関西・関東方面に出荷されている。

立野拡幅の整備は、農産品の物流において重要な役割を担う国道57号の交通混雑緩和を図り、速達性・定時性の確保による市場へのアクセス向上を支援する。

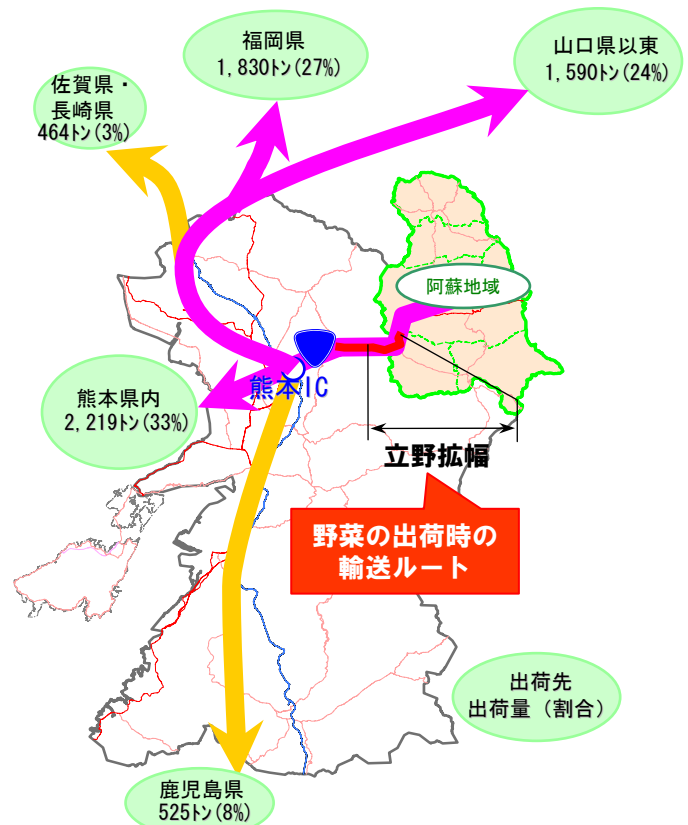


熊本県はトマト、ミニトマトの生産全国1位



阿蘇地方では、冷涼な気候を好むキャベツの生産が多く、通年栽培されているが、4月～7月が最盛期。

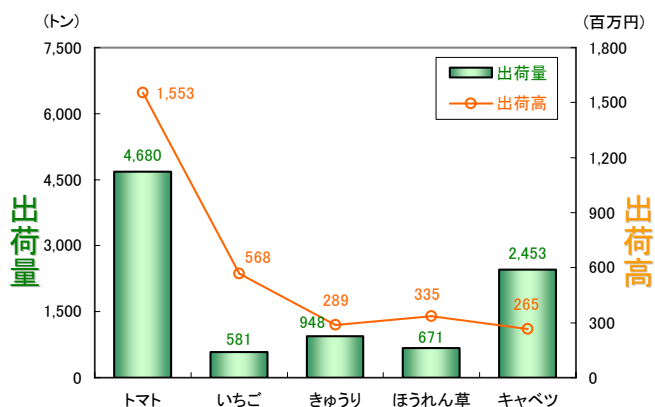
提供：JA阿蘇



※ 野菜：トマト、ミニトマト、きゅうり、ほうれん草、キャベツ、甘藷、アスパラガス、ピーマン

▲ 阿蘇地域からの野菜の出荷先別出荷量 (H23)

資料：JA阿蘇 (H23)



物流の現状・課題、意見

- 農産物の出荷については、県内・県外とも国道57号を熊本市方面へ輸送している。
 - 国道57号の渋滞により、市場の夕競りに間に合わないことがある。
 - 国道57号の渋滞の解消により、市場への定時性が確保できることから、4車線化は必要である。
- 【JA阿蘇】

※ H23年度ヒアリング調査結果

▲ 阿蘇地域の野菜の出荷量および出荷高 (H23)

資料：JA阿蘇 (H23)

調査期間：H23. 4. 1～H24. 3. 31

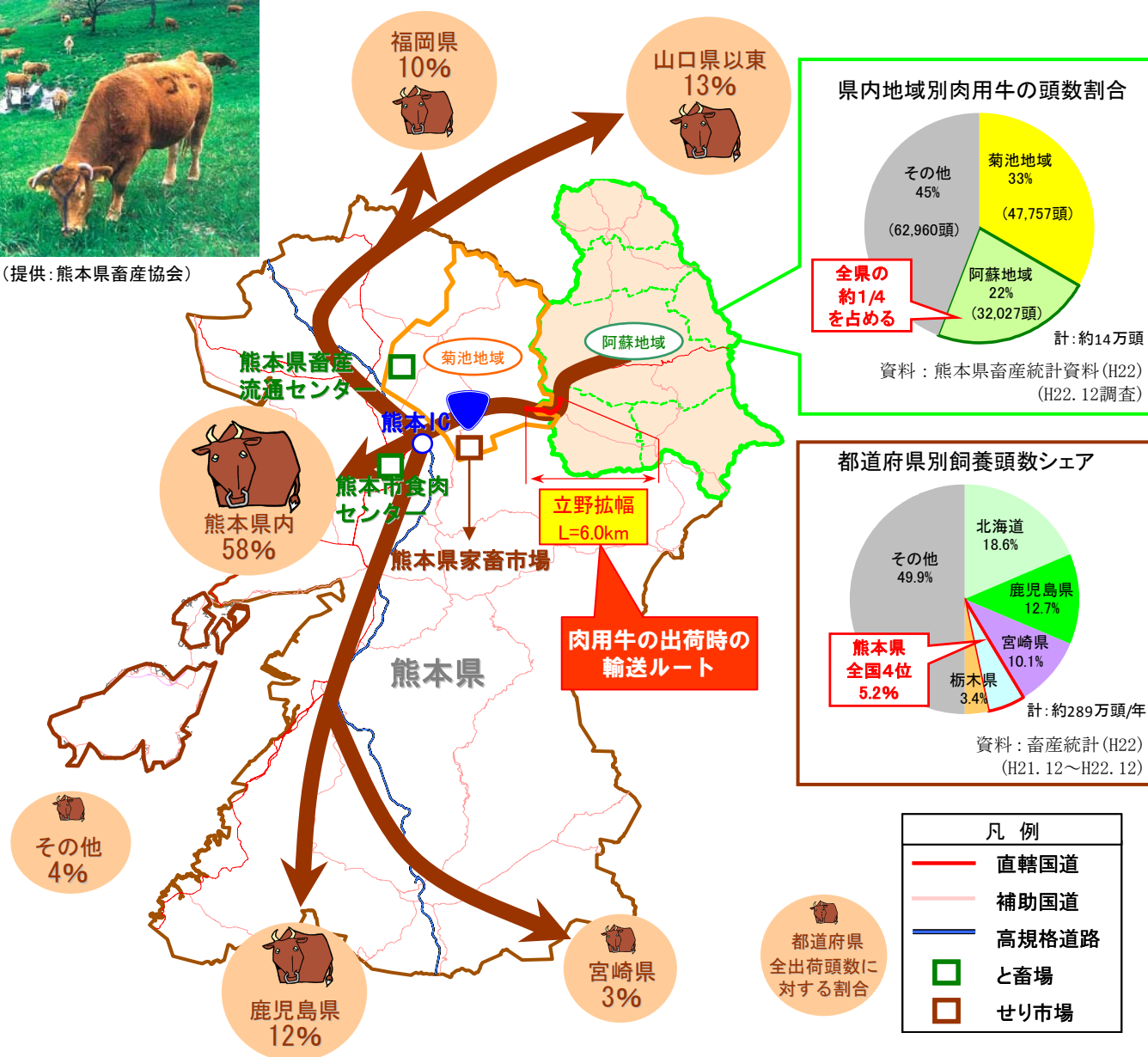
◆畜産品の物流機能向上

阿蘇地域では全県の22%にあたる肉用牛が飼育されており、全国第4位のシェアを誇る熊本県の畜産業を支えている。肉用牛のほとんどが国道57号を利用して熊本県内だけでなく、熊本県外（約4割）に出荷されており、国道57号は畜産品の物流において重要な役割を担っている。

立野拡幅の整備は、国道57号の交通混雑緩和を図り、肉用牛のストレス等を軽減する安定輸送を支援する。



(提供: 熊本県畜産協会)



▲ 阿蘇地域からの肉用牛出荷先別割合(参考)

※ 出荷先割合は熊本県の割合を示している。県内地域別の出荷先に関するデータが整備されていないが、全県の出荷先割合とほぼ同様の傾向と考えられる。(県畜産課ヒアリングより)

資料：畜産物流通統計(H21)

(3) 事業の投資効果

1) 事業の目的

国道 57 号 立野拡幅は、熊本県阿蘇郡南阿蘇村～同県大津町間の国道 57 号の交通渋滞の緩和と国際観光拠点である阿蘇地域の活性化への寄与を目的とした一連の 4 車線拡幅事業である。

2) 費用便益分析結果【残事業】

①便 益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合 計
基 準 年	平成 2 4 年度			
供 用 年	平成 2 7 年度			
初年便益	6. 1 億円	0. 0 3 億円	0. 0 4 億円	6. 2 億円
基準年における 現在価値 (B)	1 5 9 億円	- 2. 5 億円	3. 8 億円	1 6 0 億円

②費 用

	事業費	維持管理費	合 計
基 準 年	平成 2 4 年度		
単純合計	3 8 億円	1 7 億円	5 5 億円
基準年における 現在価値 (C)	3 5 億円	6. 4 億円	4 1 億円

③評価指標の算定結果

費用便益分析 (C B R)	$B / C = 3. 9$
----------------	----------------

注) 費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

3) 費用便益分析結果【全事業】

①便 益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合 計
基 準 年	平成 2 4 年度			
供 用 年	平成 1 0 年度			
初年便益	3. 2 億円	0. 3 9 億円	0. 0 4 億円	3. 6 億円
基準年における 現在価値 (B)	3 4 4 億円	6. 0 億円	9. 0 億円	3 5 9 億円

②費 用

	事業費	維持管理費	合 計
基準年	平成 2 4 年度		
単純合計	1 7 1 億円	3 2 億円	2 0 3 億円
基準年における 現在価値 (C)	2 1 5 億円	1 9 億円	2 3 5 億円

③評価指標の算定結果

費用便益分析 (C B R)	$B / C = 1. 5$
----------------	----------------

注) 費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

(4) 事業の進捗状況

1) 事業経緯

年度	経緯
昭和52年度	事業化
昭和54年度	用地買収着手
昭和57年度	工事着手
昭和59年度 ～平成16年度	L=1.9km(3/4)供用 (阿蘇大橋交差点～立野交差点)
平成22年度	L=3.6km(4/4)供用 (阿蘇大橋交差点～阿蘇口交差点)
平成23年度～	用地促進、工事促進

2) 事業費の進捗状況

	全体事業費	H23 年度末進捗	進捗率
事業費	約 178 億円	約 127 億円	約 71%
うち用地補償費	約 19 億円	約 18 億円	約 95%

※ 進捗率は事業費ベース

3) 前回評価時との比較

		前回評価 (H23 年度)	今回評価 (H24 年度)
延長		6.0 km	6.0 km
計画交通量		① 23,400 台/日 ② 24,400 台/日 ③ 25,600 台/日 ④ 21,100 台/日	① 23,400 台/日 ② 24,400 台/日 ③ 25,600 台/日 ④ 21,100 台/日
事業費 (現在価値化後)		約 159 億円 (194 億円)	約 178 億円 (215 億円)
B/C	残事業	4.2 = $\frac{142 \text{ 億円}}{34 \text{ 億円}}$	3.9 = $\frac{160 \text{ 億円}}{41 \text{ 億円}}$
	全事業	1.6 = $\frac{338 \text{ 億円}}{214 \text{ 億円}}$	1.5 = $\frac{359 \text{ 億円}}{235 \text{ 億円}}$

※ [] 書き上段：現在価値化後の便益、下段：現在価値化後のコスト

4) 事業費増額の理由

	前回評価時 (H23 年度)	今回評価時 (H24 年度)	変更内容	理由
事業費	約 159 億円	約 178 億円	+19 億円	- 擁壁基礎部の良質土置換え・軽量盛土へ変更 【約+11.4 億円】 - 橋梁形式の変更 【約 +8.0 億円】 - コスト縮減 【約-0.4 億円】

3. 事業の進捗の見込み

(1) 今後の事業の見通し

平成23年度末における立野拡幅の事業進捗率は、事業費ベースで約71%であり、そのうち用地進捗率は約95%に達している。

平成26年度には、1.5km区間が供用予定であり、0.9km区間についても早期供用に向け、引き続き事業を促進する。

(2) 地域の協力体制

事業推進にあたっては、地元や関係機関との協力体制も確立しており、円滑な事業執行が可能である。

■ 期成会等

名称	主な構成メンバー	活動内容
国道57号整備促進期成会 ・平成12年5月8日発足 (会長:大津町長)	大津町、南阿蘇村、 熊本市、菊陽町、 阿蘇市、産山村、 西原村、南小国町、 高森町、小国町の 市長村長10名および 議会議員10名、 熊本県議会議員4名 (顧問)	前回評価時(平成15年度)以降、本省、地整、事務所への 要望が継続して出されている。 平成12年5月8日 地整要望 平成12年11月27日～28日 本省要望 平成13年5月21日 地整要望 平成13年11月13日～14日 本省要望 平成14年10月8日 事務所要望 平成14年11月7日 地整要望 平成15年12月8日 地整要望、事務所要望 平成16年11月15日 地整要望、事務所要望 平成16年12月1日 本省要望 平成17年7月6日 地整要望、事務所要望 平成17年11月29日 本省要望 平成18年8月21日 地整要望、事務所要望 平成18年11月15日 本省要望 平成19年8月31日 地整要望、事務所要望 平成20年9月3日 地整要望、事務所要望 平成20年11月26日 本省要望 平成21年7月21日 地整要望、事務所要望 平成21年10月28日 本省要望 平成22年11月24日 地整要望、事務所要望 平成22年12月1日 本省要望 平成23年10月11日 地整要望、事務所要望 平成23年11月29日 本省要望
県知事		平成16年7月9日 知事提言
南阿蘇村(旧長陽村) (会長:南阿蘇村村長)		平成13年8月29日 事務所要望 平成14年10月3日 地整要望、事務所要望 平成15年7月8日 地整要望、事務所要望 平成15年7月17日 本省要望 平成21年1月27日 地整要望、事務所要望 事務所要望
国道57号沿線住民協議会		平成16年6月19日 国道57号4車線化早期実現 促進住民決起集会 平成16年8月2日 事務所要望
熊本商工会議所連合会 ・昭和35年3月発足 (会長:熊本商工会議所会頭)		平成13年11月15日 地整要望、事務所要望 平成14年11月11日 地整要望、事務所要望 平成18年2月23日 事務所要望(提出のみ)
熊本経済同好会 熊本商工会議所 熊本県工業連合会		平成23年12月13日 地整要望 平成23年12月15日 事務所要望

■ 協力体制

組織名	業務内容
南阿蘇村 大津町	立野拡幅事業関連 ・地元説明会等の住民との連絡調整 ・地元要望等の受付窓口 ・役所内部等への調整窓口

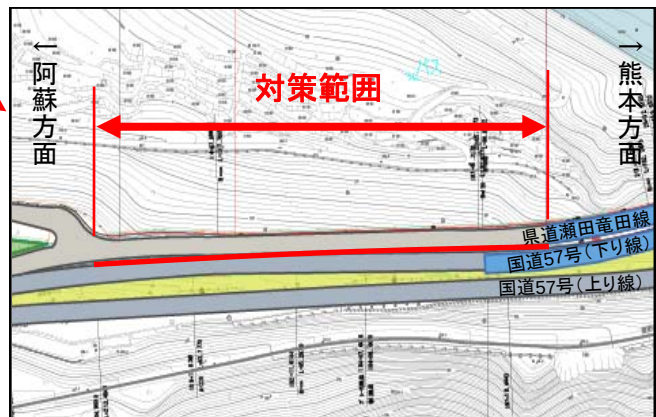
(3) 環境・景観への取り組み状況

擁壁の構造や緑化による景観保全対策を検討。

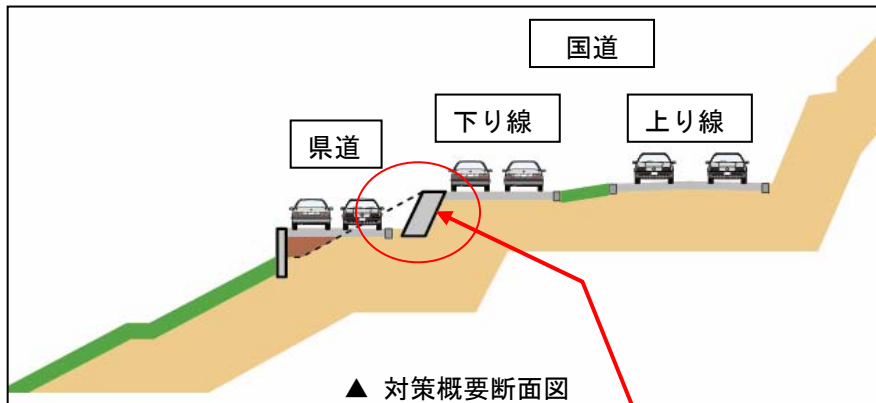
○周辺と調和する擁壁構造の検討（擁壁構造の緑化）



▲ 対策箇所概略位置



▲ 要対策箇所位置図



▲ 対策概要断面図

擁壁構造の検討
緑化による周辺との調和



▲ 対策イメージ図

4. 事業費の変動要因

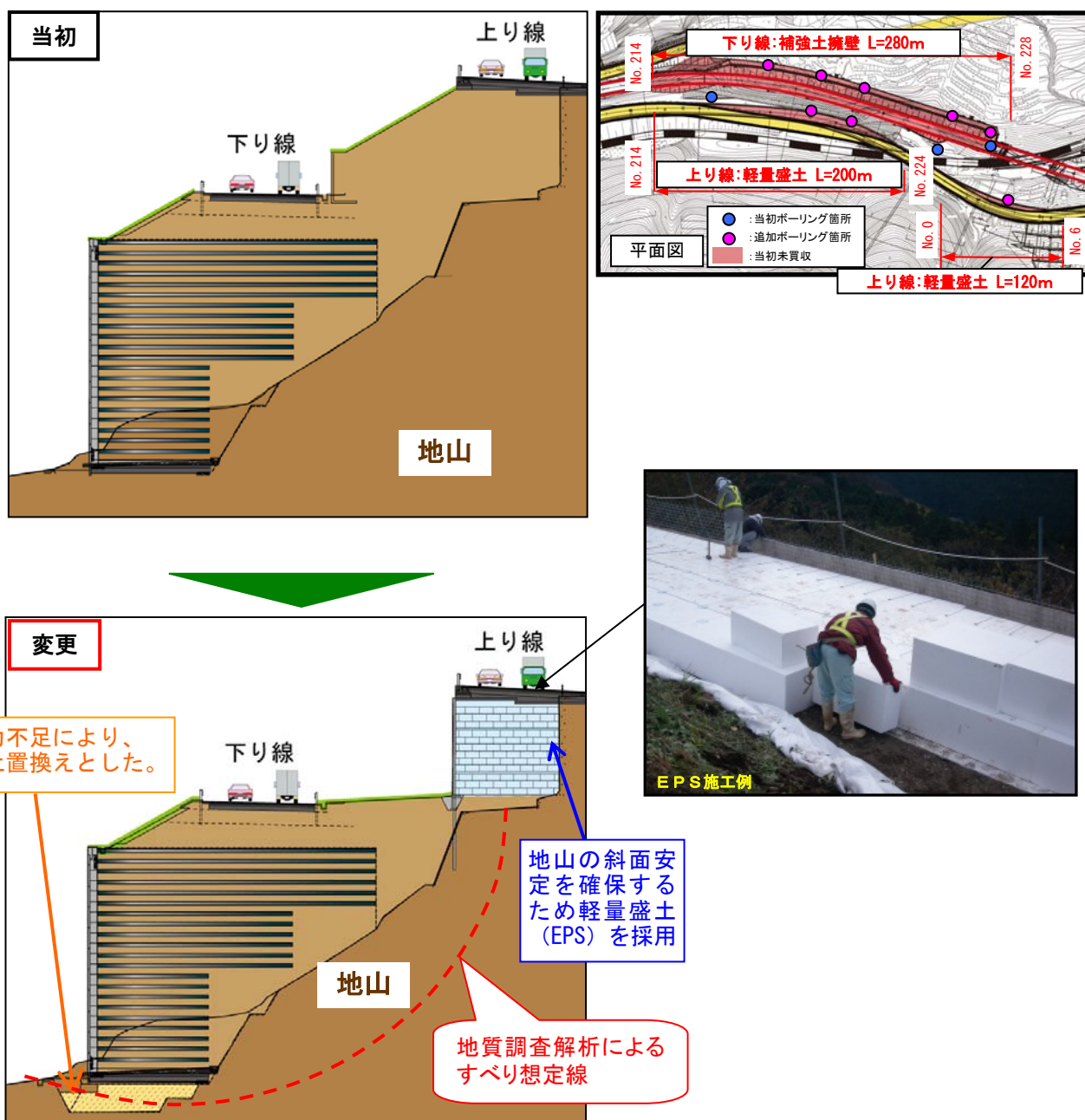
○事業費の見直し

(擁壁基礎部の良質土置換え及び軽量盛土への変更 約 11.4 億円の増額)

- ・当初の地質調査段階では、用地買収が困難を極めたため、施工箇所における地質調査ができず、近接地にて調査を行った結果、構造的にも安価な盛土構造で計画していた。

しかし、用地取得後に、施工箇所にて詳細な地質調査並びに解析を行った結果、当初の盛土構造では安全の確保が出来ないことが判明したため、軽量盛土（EPS）に変更した。

また、擁壁基礎の地耐力の不足も判明したことにより、良質土による置き換えを行うこととした。



○事業費の見直し

(橋梁形式の変更 約8億円の増額)

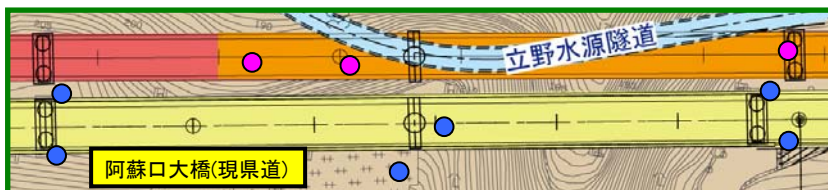
- ・当初計画では、併走する阿蘇口大橋（鈑桁橋＋箱桁橋）の資料を基に、同程度の橋梁形式として計画していた。

その後、施工位置の用地買収が完了したため、詳細な地質調査を実施したところ、当初の想定支持層より深い支持層であることが判明した。

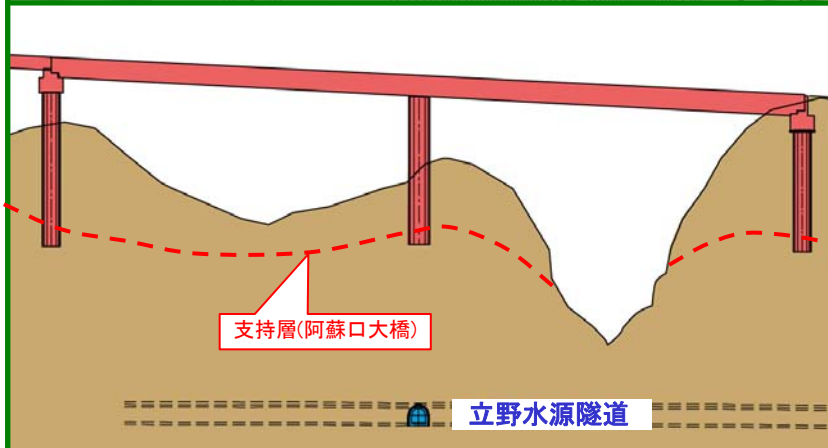
これにより、橋脚根入れ深さの変更が生じ、当初の橋脚位置では、立野水源隧道が支障となることから、影響のない箇所に橋脚位置を変更し、橋梁形式を、鋼2径間連続鈑桁橋+鋼アーチ橋に変更した。

当初

平面図▶



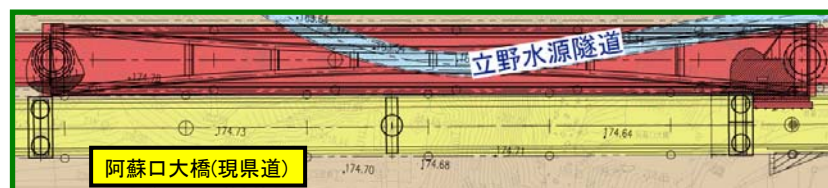
側面図▶



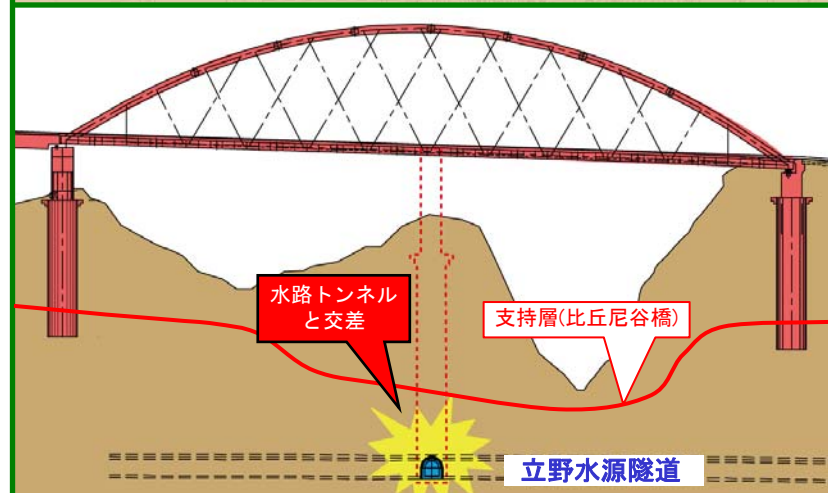
- : 阿蘇口大橋ボーリング箇所
- : 新規調査ボーリング箇所
- : 当初未買収

今回

平面図▶



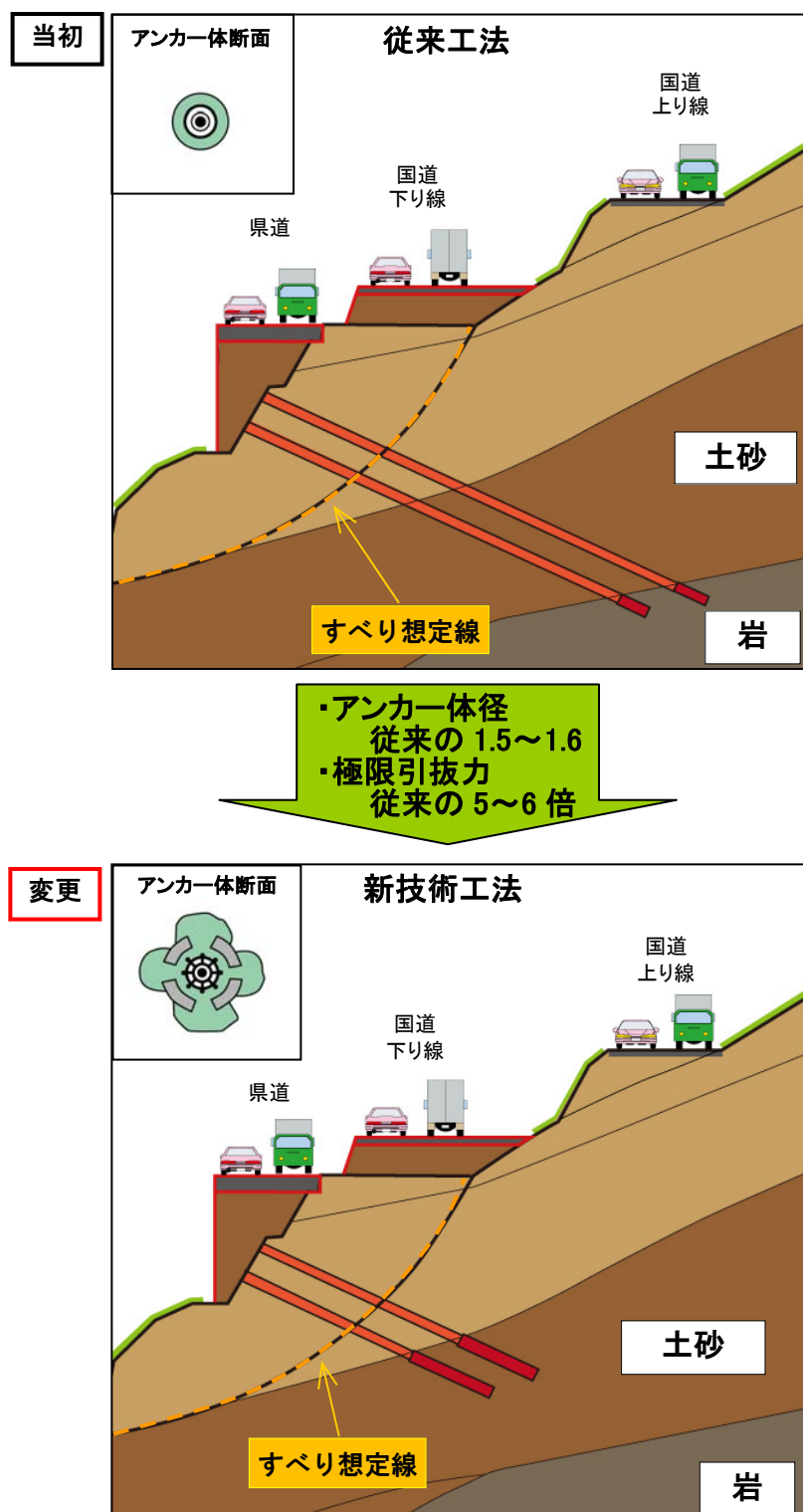
側面図▶



5. コスト縮減や代替案立案等

○コスト縮減【約-0.4億円】

- ・法面の安定確保のため、当初は従来の岩層に定着するアンカー工法による計画としていたが、新技術である土砂層において定着するアンカー工法の採用により、アンカー体径を拡大することで周辺摩擦抵抗を大きくとれ、アンカー長を短くでき、従来の工法に比べ、約0.4億円のコスト縮減



○代替案立案等

- ・当該事業は、現在までに、6.0kmのうち、3.6km区間が完成供用している。
- ・当該事業箇所は、国道57号は、比較的線形がよく、沿道には大型店舗等もないことから、部分供用により早期効果を発現出来る現道拡幅事業が適当である。

6. 対応方針(原案)

[事業継続]

- 国道57号立野拡幅は、南阿蘇村から大津町間の**国道57号の交通渋滞の緩和と国際観光拠点である阿蘇地域の活性化**に寄与することを目的として整備されるものである。
- **費用対効果についても十分高い事業**である。
- 事業進捗率は、**事業費ベースで約71%〔約127億円/約178億円〕**(平成23年度末)であり、そのうち**用地進捗率は約95%〔約18億円/約19億円〕**となっており、平成26年度には、終点部のL=1.5km区間の供用を予定している。
- 本事業の実施にあたっては、南阿蘇村及び大津町が地元説明会に同行するなど、**地元自治体等からの協力体制も確立**していることから、**今後の円滑な事業執行が可能**である。
- よって、当該事業の完成供用に向けて**事業を継続すること**としたい。

7. その他

- 今後、事業の着手段階においては、今回の事業費増額(地質調査による対策費用の増加)を踏まえ、**不確定要素を考慮した事業費の算出に努めること**としたい。

卷 末 資 料

様式 1 客観的評価指標による事業採択の前提条件、事業の効果や必要性の確認の状況

事業名	国道57号 立野塩幅
事業主体	九州地方整備局

●事業採択の前提条件を確認するための指標

	指 標	指標チェックの根拠
前提条件	事業の効率性	■ 便益が費用を上回っている
●事業の効果や必要性を評価するための指標		

政策目標	指 標	指標チェックの根拠
1. 活力 ・ 円滑なモビリティの確保	指 標 (対象となる指標のみ記載。効果が確認されるものは口を■に変更)	区間b (当該区間／並行区間) について：(国道57号熊本県阿蘇郡南阿蘇村赤瀬～同県菊池郡大津町蒲田) 並行区間等の損失時間：19.7万人・時間/年 並行区間等の損失削減率：10割削減
	■ 現道等の年間渋滞損失時間及び削減率	
	□ 現道等における混雑時旅行速度が20km/h未満である区間の旅行速度の改善が期待される	
	□ 現道又は並行区間等における路切交通断崖が10,000台時/日以上 の路切運の除却もしくは交通改善が期待される	
	■ 現道等に、当該路線の整備により利便性の向上が期待できるバス路線が存在する	路線バス (熊本市内～阿蘇地域) 九州横断バス (あそ号、くじゅう号：熊本～阿蘇～別府) 都市間バス (やまびこ号：熊本～大分)
物流効率化の支援	□ 新幹線駅もしくは特急停車駅へのアクセス向上が見込まれる	
	□ 第一種空港、第二種空港、第三種空港もしくは共用飛行場へのアクセス向上が見込まれる	
	□ 重要港湾もしくは特定重要港湾へのアクセス向上が見込まれる	
	■ 農林水産業を主体とする地域において農林水産品の流通の利便性が向上	農林水産業を主体とする地域名：JA阿蘇管内 (阿蘇市、南阿蘇村、高森町、小国町、南小国町、産山村) 主な出荷先：熊本市内、福岡県をはじめとする九州全域、その他近畿など全国
	□ 現道等における、総重量25tの車両もしくはISO規格背高海上コンテナ輸送車が通行できない区間を解消する	
都市の再生	□ 都市再生プロジェクトを支援する事業である	
	□ 広域道路整備基本計画に位置づけのある環状道路を形成する	
	□ 市街地再開発、区画整理等の沿道まちづくりとの連携あり	
	□ 中心市街地内で行う事業である	
	□ 幹線都市計画道路路線密度が1.5km/km2以下である市街地内での事業である	
	□ D10区域内の都市計画道路路線整備であり、市街地の都市計画道路路線密度が向上する	
	□ 対象区間が現在連絡道路がない住宅地開発(300戸以上又は16ha以上、大都市においては100戸以上又は5ha以上)への連絡道路となる	

1. 活力	国土・地域ネットワークの構築	☐ 高速自動車国道と並行する自導道（A 路線）としての位置づけ有り	
		☐ 地域高規格道路の位置づけあり	
		☐ 当該路線が新たに拠点都市間を高規格幹線道路で連絡するルートを構成する（A 路線としての位置づけがある場合）	
		☒ 当該路線が隣接した日常活動圏中心都市間で最短時間で連絡する路線を構成する	熊本市（県庁）～阿蘇市（市役所）：平日約84分→約81分：約3分短縮、休日約89分→約82分：約7分短縮）
		☐ 現道等における交通不能区間を解消する	
		☐ 現道等における大型車のすれ違い困難区間を解消する	
		☒ 日常活動圏の中心都市へのアクセス向上が見込まれる	熊本市（県庁）～阿蘇市（市役所）：平日：約3分短縮、休日：約7分短縮、観光期（GW）：約10分短縮）
		☐ 鉄道や河川等により一体的発展が阻害されている地区を解消する	
		☐ 拠点開発プロジェクト、地域連携プロジェクトを支援する	
		☒ 主要な観光地へのアクセス向上が期待される	年間観光入り込み客が1,752万人を誇る阿蘇地域（阿蘇くじゅう国立公園および周辺地域）へのアクセス向上
2. 暮らし	歩行者・自転車 のための生活空間の形成	☐ 特別立法に基づく事業である	
		☐ 新規整備の公共公益施設へ直結する道路である	
		☐ 歴史的景観を活かした道路整備や中心商店街のシンボリックな道路整備等、特色あるまちづくりに資する事業である	
		☐ 自転車交通量が500台/日以上、自動車交通量が1,000台/2h以上、歩行者交通量が500人/日以上に該当する区間において、自転車利用空間を整備することにより、当該区間の歩行者・自転車の通行の快適・安全性の向上が期待できる	
	無電柱化による 美しい町並みの形成	☐ バリアフリー新法に基づく特定道路が新たにバリアフリー化される	
		☐ 対象区間が電線跡地中化5ヶ年計画に位置づけ有り	
	安全で安心できるくらしの確保	☐ 市街地又は歴史的景観地区（歴史的風土特別保存区域及び重要伝統的建造物保存地区）の幹線道路において新たに無電柱化を達成する	
		☐ 三次医療施設へのアクセス向上が見込まれる	

3. 安全	安全な生活環境の確保	☐ 現道等に死傷事故率が500件/億台キロ以上である区間が存在する場合において、交通量の減少、歩道の設置又は線形不良区間の解消等により、当該区間の安全性の向上が期待できる ☐ 上（当該区間が通学路である場合は500台/12h以上）かつ歩行者交通量100人/日以上（当該区間が通学路である場合は40人/日以上）の場合、又は歩行者交通量500人/日以上の場合において、歩道が無い又は狭小な区間に歩道が設置される ☐ 近隣市へのルートが1つしかなく、災害による1～2箇所の道路寸断で孤立化する集落を解消する ☒ 対象区間が、都道府県地域防災計画、緊急輸送道路ネットワーク計画又は地震対策緊急整備事業計画に位置づけがある、又は地震防災緊急事業五ヶ年計画に位置づけのある路線（以下「緊急輸送道路」という）として位置づけあり ☐ 緊急輸送道路が通行止になった場合に大幅な迂回を強いられる区間の代替路線を形成する ☐ 並行する高速ネットワークの代替路線として機能する（A'路線としての位置づけがある場合） ☐ 現道等の防災点検又は震災点検要対策箇所もしくは架橋の必要のある老朽橋梁における通行規制等が解消される ☐ 現道等の事前通行規制区間、特設通行規制区間又は冬期交通障害区間を解消する ☐ 避難路へ1km以内で到達できる地区が新たに増加する ☐ 幅員6m以上の道路がないため消火活動が出来ない地区が解消する ☐ 密集市街地における事業で火災時の延焼遮断帯の役割を果たす	
	4. 環境	☒ 対象道路の整備により削減される自動車からのCO2排出量 ☒ 現道等における自動車からのNO2排出削減率 ☒ 現道等における自動車からのSPM排出削減率 ☐ 現道等で騒音レベルが夜間要請限度を超過している区間について、新たに要請限度を下回ることが期待される区間がある ☐ その他、環境や景観上の効果が期待される	CO2排出削減量：872t-CO2/年 （未整備 50,485 t-CO2/年 ⇒ 整備後 49,613 t-CO2/年） 評価対象区間（現道）：国道57号立野拡幅区間（熊本県阿蘇郡南阿蘇村赤瀬～同県菊池郡大津町瀬田） 排出削減量：4.5 t-NO2/年、排出削減率：約0.5割 評価対象区間（現道）：国道57号立野拡幅区間（熊本県阿蘇郡南阿蘇村赤瀬～同県菊池郡大津町瀬田） 排出削減量：0.29t-SPM/年、排出削減率：約0.5割
	5. その他	☐ その他、環境や景観上の効果が期待される ☐ 道路の整備に関するプログラム又は都市計画道路整備プログラムに位置づけられている ☐ 関連する大規模道路事業と一体的に整備する必要がある ☐ 他機関との連携プログラムに位置づけられている ☐ その他、対象地域や事業に固有の事情等、以上の項目に属さない効果が見込まれる	
	他のプロジェクトとの関係		

費用便益分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	現拡・ＢＰ・ その他の別
国道57号	立野拡幅	6.0km	二次改築	現拡

計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体
21,100～25,600	4	九州地方整備局

① 費 用

	事業費	維持管理費	合 計
基 準 年	平成24年度		
単純合計	171億円	32億円	203億円
うち残事業分	38億円	17億円	55億円
基準年における 現在価値（C）	215億円	19億円	235億円
うち残事業分	35億円	6.4億円	41億円

② 便 益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合 計
基 準 年	平成24年度			
供 用 年	平成10年度			
単年便益 (初年便益)	3.2億円	0.39億円	0.04億円	3.6億円
基準年における 現在価値（B）	344億円	6.0億円	9.0億円	359億円
うち残事業分	159億円	-2.5億円	3.8億円	160億円

③ 結 果

費用便益比（事業全体）	1.5
経済的純現在価値（事業全体）	124億円
経済的内部収益率（事業全体）	6.6%
費用便益比（残事業）	3.9
経済的純現在価値（残事業）	119億円
経済的内部収益率（残事業）	19%

注）費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

④ 感 度 分 析 （ 残 事 業 を 対 象 ）

【事業全体】

	基準値	変動ケース	費用便益比（B／C）
交通量	21,100～25,600	±10%	1.3 ～ 1.8
事業費	171億円	±10%	1.5 ～ 1.6
事業期間	42年	±20%	1.5 ～ 1.6

【残事業】

	基準値	変動ケース	費用便益比（B／C）
交通量	21,100～23,400	±10%	3.3 ～ 4.3
事業費	38億円	±10%	3.6 ～ 4.2
事業期間	6年	±20%	3.8 ～ 4.0

交通状況の変化

様式－3①

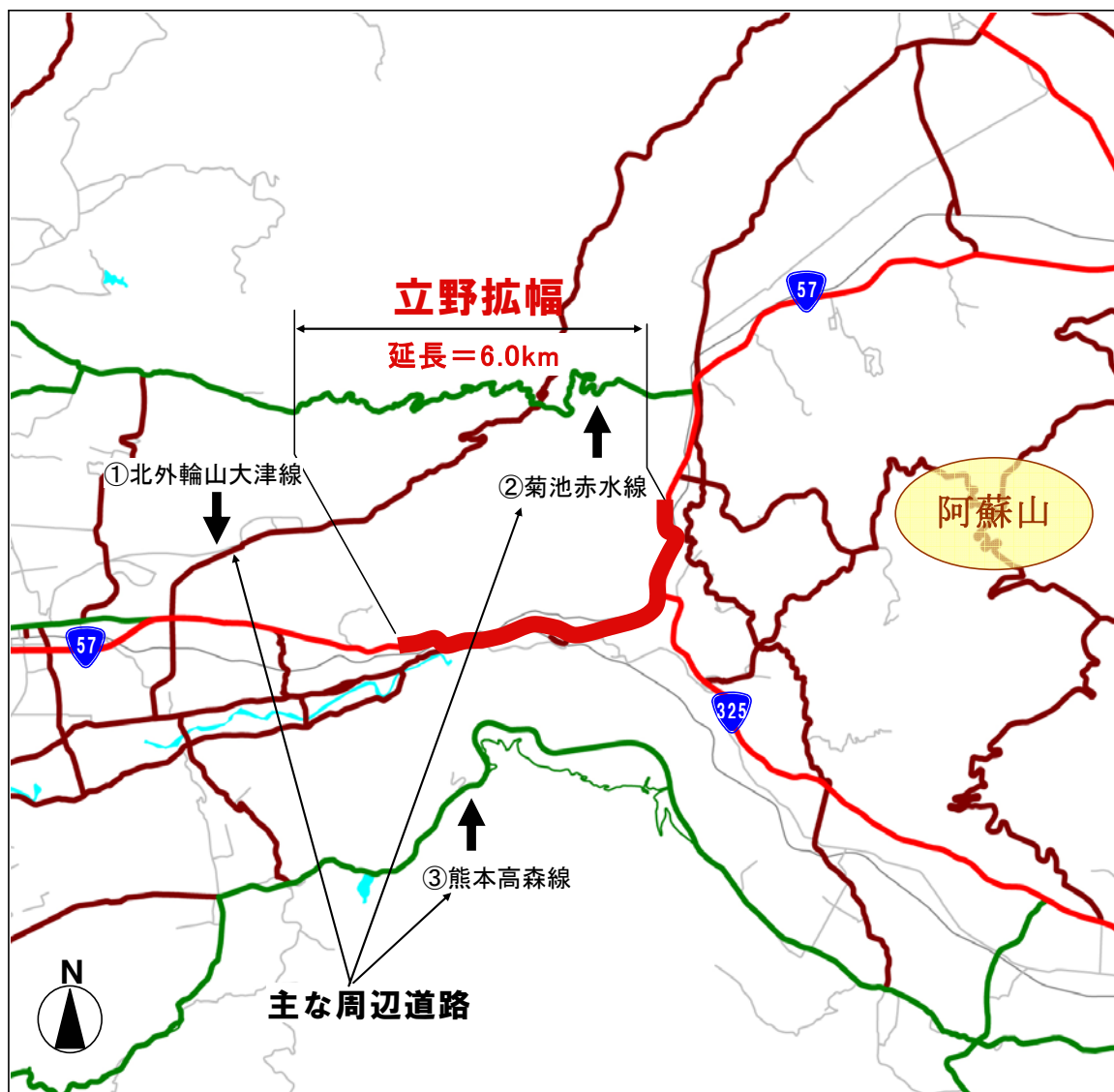
事業名：国道57号 立野拡幅

(推計時点：H 4 2 年) (事業全体)

			整備なし (A)	整備あり (B)	
①新設・改築道路 [立野拡幅拡幅区間] : 2.4km	交通量	[台/日]	18,400	22,500	
	走行時間	[分]	4.0	2.9	
	走行時間費用	[億円/年]	13	12	
①新設・改築道路 [立野拡幅完成区間] : 3.6km	交通量	[台/日]	20,300	24,900	
	走行時間	[分]	6.3	4.3	
	走行時間費用	[億円/年]	23	19	
②主な周辺道路	県)北外輪 山大津線 :4.1km	交通量	[台/日]	5,800	3,700
		走行時間	[分]	8.4	7.9
		走行時間費用	[億円/年]	9.2	5.6
	主)菊池赤 水線 :1.1km	交通量	[台/日]	3,000	400
		走行時間	[分]	2.3	2.3
		走行時間費用	[億円/年]	1.2	0.16
	主)熊本高 森線 :14.3km	交通量	[台/日]	4,100	3,200
		走行時間	[分]	19	19
		走行時間費用	[億円/年]	14	11
③その他道路合計 : 55.3km	走行時間費用	[億円/年]	118	115	

			走行時間費用 整備なし (A)	走行時間費用 整備あり (B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計 : 80.8km	走行時間短縮便益	[億円/年]	178	163	16

事業名：国道57号 立野拡幅



交通状況の変化

様式－３①

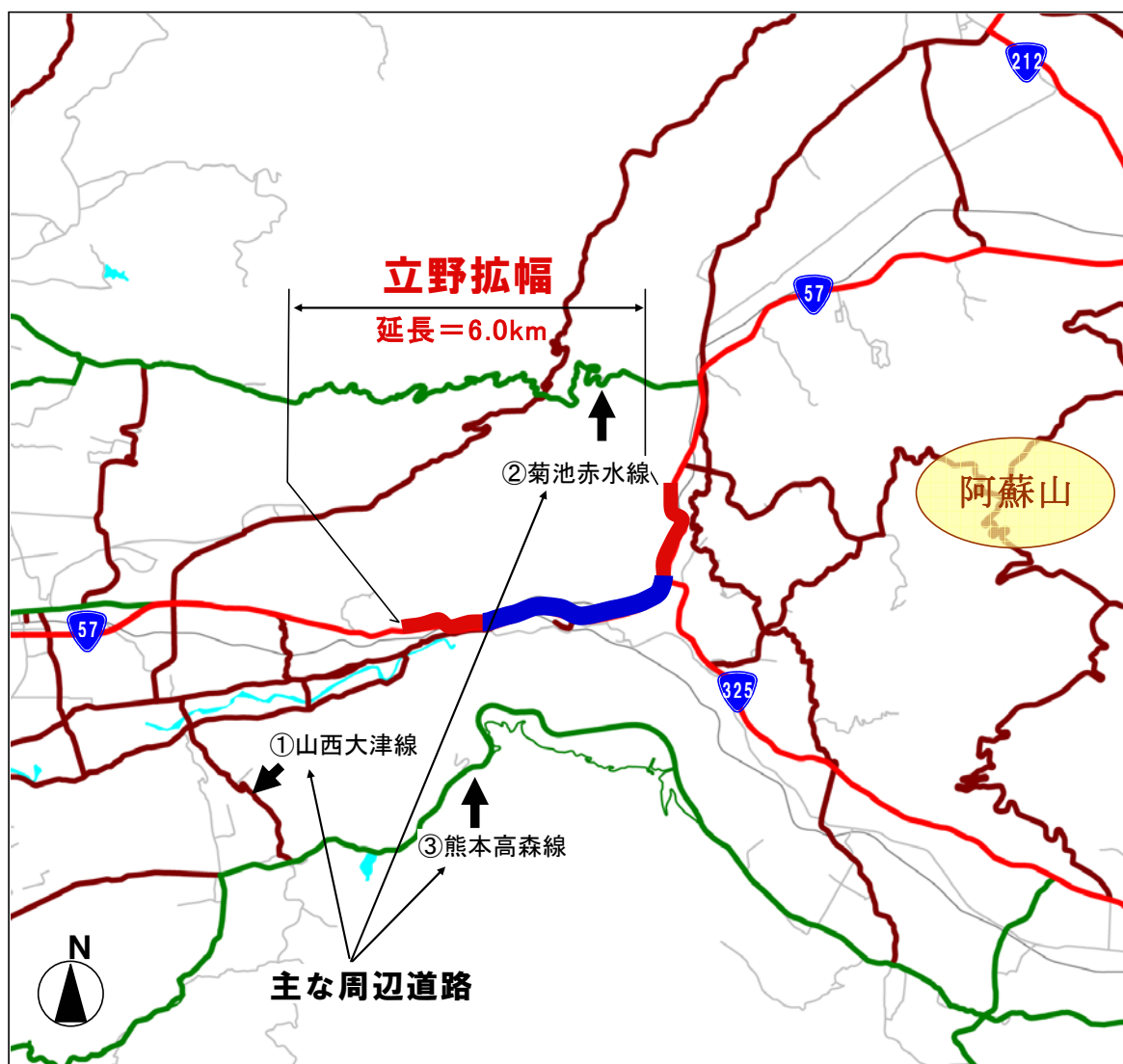
事業名：国道57号 立野拡幅

(推計時点：H 4 2 年) (残事業)

			整備なし (A)	整備あり (B)	
①新設・改築道路 [立野拡幅拡幅区間] : 2.4km		交通量	[台/日]	21,700	22,500
		走行時間	[分]	4.3	2.9
		走行時間費用	[億円/年]	17	12
①新設・改築道路 [立野拡幅完成区間] : 3.6km		交通量	[台/日]	24,000	24,900
		走行時間	[分]	4.3	4.3
		走行時間費用	[億円/年]	19	19
②主な周 辺道路	県)山西大 津線 :4.0km	交通量	[台/日]	4,100	3,900
		走行時間	[分]	8.7	8.7
		走行時間費用	[億円/年]	6.1	5.8
	主)菊池赤 水線 :1.1km	交通量	[台/日]	500	400
		走行時間	[分]	2.3	2.3
		走行時間費用	[億円/年]	0.21	0.16
	主)熊本高 森線 :14.3km	交通量	[台/日]	3,600	3,200
		走行時間	[分]	19	19
		走行時間費用	[億円/年]	12	11
③その他道路合計 : 55.4km		走行時間費用	[億円/年]	118	115

			走行時間費用 整備なし (A)	走行時間費用 整備あり (B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計 : 80.8km	走行時間短縮便益	[億円/年]	172	163	8.8

事業名：国道57号 立野拡幅



費用便益分析の条件

事業名：国道57号 立野拡幅

(2)

項目		チェック欄		
算出マニュアル	費用便益分析マニュアル (平成20年11月 国土交通省 道路局 都市・地域整備局)	☒		
	その他	☐		
分析の基本的事項	分析対象期間	50年間		
	社会的割引率	4%		
	基準年次	平成24年		
交通流推計	交通流の推計時点	1時点のみ推計	☐ ()	
		複数時点での推計	☒ (H17,H42)	
	推計の状況	整備の有無それぞれで交通流を推計		☒
		整備の有無のいずれかのみ推計		☐ 有 ☐ 無
		いずれかのみ推計の場合	いずれかのみ推計とした理由を記載	
	推計に用いたOD表	道路交通センサスをベースとした自動車OD表 (三段階推定法)		☒ (H17センサス)
		パーソントリップ調査をベースとした自動車OD表 (四段階推定法)		☐
		その他()		☐
				☐
	開発交通量の考慮	無		☒
		有		☐
		有の場合のみ	考慮した開発交通量(トリップ数)	() 台トリップ/日
			考慮した理由を記載	
	配分交通量の推計手法	Q－V式を用いた配分		☐
		転換率式を用いた配分		☐
		Q－V式と転換率式の併用による配分		☒
		均衡配分(リンクパフォーマンス関数を用いた配分)		☐
		簡易手法		☐
簡易手法の採択理由		小規模事業である	☐	
		山間部海岸部で併行道路が少ない	☐	
		その他()		
簡易手法の考え方(将来交通量の設定方法等)				
その他()		☐		
速度設定の考え方	各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付けして設定		☒	
	採用理由を記載	交通量が、交通容量(Qmax～Qmin)以上の路線、交通容量程度の路線などが混在した配分結果となっているため、費用便益算出においては、速度差の生ずる「加重平均速度」を用いた。		
	最終配分の速度		☐	
	採用理由を記載			
その他()		☐		

(3)

便益の算定

事業名：国道57号 立野拡幅

(4)

項目			チェック欄
費用 の 算 定	事業費	詳細事業計画による値を採用	☐
		標準投資パターンを採用	☐
		その他(概略事業計画による値を採用)	☒
	維持管理費	維持管理費の設定根拠を記載 当該道路周辺地域における直轄国道の維持管理等に要する実績経費(過去3年間:H21~H23)に基づく	
		雪寒費	積雪地域または寒冷地域である
	その他		
4. その他			

費用の現在価値算定表

箇所名：国道57号 立野拡幅				維持管理費の単価の算出(消費税相当額含む)			
				単価(億円)	延長(km)	単価(億円)	
(事業全体)				0.15	6.0	0.90	
年次	年度	割引率	GDP デフレーター	事業費(億円)		維持管理費(億円)	
				単価	現在	単価	現在
-21年目	S 52	3.9461	81.3	0.05	0.23		
-20年目	S 53	3.7943	84.7	0.10	0.42		
-19年目	S 54	3.6484	86.9	0.10	0.39		
-18年目	S 55	3.5081	92.4	0.05	0.18		
-17年目	S 56	3.3731	94.8	0.60	2.00		
-16年目	S 57	3.2434	95.8	0.75	2.38		
-15年目	S 58	3.1187	96.8	0.65	1.96		
-14年目	S 59	2.9987	98.7	1.90	5.41		
-13年目	S 60	2.8834	99.5	1.80	4.89		
-12年目	S 61	2.7725	101.2	2.70	6.94		
-11年目	S 62	2.6658	101.0	1.70	4.21		
-10年目	S 63	2.5633	101.5	1.40	3.32		
-9年目	H 1	2.4647	104.2	0.40	0.88		
-8年目	H 2	2.3699	106.5	0.29	0.61		
-7年目	H 3	2.2788	109.1	0.49	0.96		
-6年目	H 4	2.1911	110.6	1.93	3.59		
-5年目	H 5	2.1068	110.9	5.06	9.01		
-4年目	H 6	2.0258	110.8	3.60	6.17		
-3年目	H 7	1.9479	109.9	1.86	3.09		
-2年目	H 8	1.8730	109.5	3.13	5.02		
-1年目	H 9	1.8009	110.4	0.95	1.46		
供用開始年次	H 10	1.7317	109.9	1.00	1.48	0.20	0.29
1年目	H 11	1.6651	108.4	2.98	4.30	0.20	0.29
2年目	H 12	1.6010	107.2	10.55	14.78	0.20	0.28
3年目	H 13	1.5395	105.7	0.41	0.56	0.20	0.27
4年目	H 14	1.4802	103.8	1.22	1.63	0.20	0.26
5年目	H 15	1.4233	102.3	1.00	1.30	0.20	0.26
6年目	H 16	1.3686	101.0	1.14	1.45	0.20	0.25
7年目	H 17	1.3159	99.6	5.84	7.24	0.20	0.25
8年目	H 18	1.2653	98.7	9.65	11.61	0.20	0.24
9年目	H 19	1.2167	97.6	10.38	12.14	0.20	0.23
10年目	H 20	1.1699	96.8	12.27	13.91	0.20	0.22
11年目	H 21	1.1249	95.6	14.43	15.92	0.20	0.22
12年目	H 22	1.0816	93.8	14.40	15.57	0.20	0.21
13年目	H 23	1.0400	93.8	7.44	7.73	0.51	0.53
14年目	H 24	1.0000	93.8	10.48	10.48	0.51	0.51
15年目	H 25	0.9615	93.8	21.76	20.92	0.51	0.49
16年目	H 26	0.9246	93.8	2.91	2.69	0.51	0.48
17年目	H 27	0.8890	93.8	3.04	2.71	0.73	0.65
18年目	H 28	0.8548	93.8	5.91	5.05	0.73	0.62
19年目	H 29	0.8219	93.8	3.76	3.09	0.73	0.60
20年目	H 30	0.7903	93.8	0.90	0.72	0.73	0.58
21年目	H 31	0.7599	93.8			0.86	0.65
22年目	H 32	0.7307	93.8			0.86	0.63
23年目	H 33	0.7026	93.8			0.86	0.60
24年目	H 34	0.6756	93.8			0.86	0.58
25年目	H 35	0.6496	93.8			0.86	0.56
26年目	H 36	0.6246	93.8			0.86	0.54
27年目	H 37	0.6006	93.8			0.86	0.51
28年目	H 38	0.5775	93.8			0.86	0.50
29年目	H 39	0.5553	93.8			0.86	0.48
30年目	H 40	0.5339	93.8			0.86	0.46
31年目	H 41	0.5134	93.8			0.86	0.44
32年目	H 42	0.4936	93.8			0.86	0.42
33年目	H 43	0.4746	93.8			0.86	0.41
34年目	H 44	0.4564	93.8			0.86	0.39
35年目	H 45	0.4388	93.8			0.86	0.38
36年目	H 46	0.4220	93.8			0.86	0.36
37年目	H 47	0.4057	93.8			0.86	0.35
38年目	H 48	0.3901	93.8			0.86	0.33
39年目	H 49	0.3751	93.8			0.86	0.32
40年目	H 50	0.3607	93.8			0.86	0.31
41年目	H 51	0.3468	93.8			0.86	0.30
42年目	H 52	0.3335	93.8			0.86	0.29
43年目	H 53	0.3207	93.8			0.86	0.27
44年目	H 54	0.3083	93.8			0.86	0.26
45年目	H 55	0.2965	93.8			0.86	0.25
46年目	H 56	0.2851	93.8			0.86	0.24
47年目	H 57	0.2741	93.8			0.86	0.23
48年目	H 58	0.2636	93.8			0.86	0.23
49年目	H 59	0.2534	93.8	-12.11	-3.07	0.86	0.22
合 計				158.88	215.35	32.40	19.24
単純事業費計				170.99		32.40	

注1) 事業費の投資パターンは、概略事業計画による値を採用したものであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。

このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

費用の現在価値算定表

箇所名：国道57号 立野拡幅 (残事業)				維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)			
				単価(億円)		延長(km)	単純単価(億円)
				0.15		2.4	0.36
年次	年度	割引率	GDP デフレータ	事業費(億円)		維持管理費(億円)	
				単純単価	現在価値	単純単価	現在価値
-2年目	H 25	0.9615	93.8	21.76	20.92		
-1年目	H 26	0.9246	93.8	2.91	2.69		
供用開始年次	H 27	0.8890	93.8	3.04	2.71	0.21	0.19
1年目	H 28	0.8548	93.8	5.91	5.05	0.21	0.18
2年目	H 29	0.8219	93.8	3.76	3.09	0.21	0.18
3年目	H 30	0.7903	93.8	0.90	0.72	0.21	0.17
4年目	H 31	0.7599	93.8			0.34	0.26
5年目	H 32	0.7307	93.8			0.34	0.25
6年目	H 33	0.7026	93.8			0.34	0.24
7年目	H 34	0.6756	93.8			0.34	0.23
8年目	H 35	0.6496	93.8			0.34	0.22
9年目	H 36	0.6246	93.8			0.34	0.21
10年目	H 37	0.6006	93.8			0.34	0.21
11年目	H 38	0.5775	93.8			0.34	0.20
12年目	H 39	0.5553	93.8			0.34	0.19
13年目	H 40	0.5339	93.8			0.34	0.18
14年目	H 41	0.5134	93.8			0.34	0.18
15年目	H 42	0.4936	93.8			0.34	0.17
16年目	H 43	0.4746	93.8			0.34	0.16
17年目	H 44	0.4564	93.8			0.34	0.16
18年目	H 45	0.4388	93.8			0.34	0.15
19年目	H 46	0.4220	93.8			0.34	0.14
20年目	H 47	0.4057	93.8			0.34	0.14
21年目	H 48	0.3901	93.8			0.34	0.13
22年目	H 49	0.3751	93.8			0.34	0.13
23年目	H 50	0.3607	93.8			0.34	0.12
24年目	H 51	0.3468	93.8			0.34	0.12
25年目	H 52	0.3335	93.8			0.34	0.11
26年目	H 53	0.3207	93.8			0.34	0.11
27年目	H 54	0.3083	93.8			0.34	0.11
28年目	H 55	0.2965	93.8			0.34	0.10
29年目	H 56	0.2851	93.8			0.34	0.10
30年目	H 57	0.2741	93.8			0.34	0.09
31年目	H 58	0.2636	93.8			0.34	0.09
32年目	H 59	0.2534	93.8			0.34	0.09
33年目	H 60	0.2437	93.8			0.34	0.08
34年目	H 61	0.2343	93.8			0.34	0.08
35年目	H 62	0.2253	93.8			0.34	0.08
36年目	H 63	0.2166	93.8			0.34	0.07
37年目	H 64	0.2083	93.8			0.34	0.07
38年目	H 65	0.2003	93.8			0.34	0.07
39年目	H 66	0.1926	93.8			0.34	0.07
40年目	H 67	0.1852	93.8			0.34	0.06
41年目	H 68	0.1780	93.8			0.34	0.06
42年目	H 69	0.1712	93.8			0.34	0.06
43年目	H 70	0.1646	93.8			0.34	0.06
44年目	H 71	0.1583	93.8			0.34	0.05
45年目	H 72	0.1522	93.8			0.34	0.05
46年目	H 73	0.1463	93.8			0.34	0.05
47年目	H 74	0.1407	93.8			0.34	0.05
48年目	H 75	0.1353	93.8			0.34	0.05
49年目	H 76	0.1301	93.8	-0.77	-0.10	0.34	0.04
合 計				37.52	35.08	16.63	6.38
単純事業費計				38.29		16.63	

注1) 事業費の投資パターンは、概略事業計画による値を採用したものであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。

このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

便益の現在価値算定表

箇所名：国道57号 立野拡幅

(事業全体)

年次 (基準年)	年度 H24	総走行台キロの年次別伸び率 (南九州7市町村)				GDP デフレーター	割戻率 (A)	走行時間短縮便益(億円)				走行経費減少便益(億円)				事故減少便益(億円)			合 計 (億円)	
		乗用車単価		全 車				現在価値 ①×(A)	乗用車単価	小型貨物	普通貨物	② 計	現在価値 (A)×②	③	③×(A)	現在価値 (A)×③	割引率4%			
		乗用車単価	小型貨物	普通貨物	全 車															
供用開始年次	H 10	1.04172	0.98882	0.98882	1.02240	109.9	1.7317	0.75	0.48	3.17	4.68	0.13	0.12	0.14	0.39	0.57	0.04	0.07	3.60	5.32
1年目	H 11	1.02381	0.99233	0.99233	1.01269	108.4	1.6651	0.74	0.48	3.24	4.66	0.14	0.12	0.14	0.39	0.56	0.05	0.07	3.67	5.29
2年目	H 12	1.02326	0.99227	0.99227	1.01253	107.2	1.6010	0.74	0.47	3.27	4.59	0.14	0.12	0.14	0.39	0.55	0.05	0.06	3.71	5.20
3年目	H 13	1.02273	0.99221	0.99221	1.01238	105.7	1.5395	0.73	0.47	3.31	4.53	0.14	0.12	0.13	0.39	0.54	0.05	0.06	3.75	5.13
4年目	H 14	1.02223	0.99215	0.99215	1.01223	103.8	1.4802	0.73	0.47	3.35	4.48	0.15	0.12	0.13	0.39	0.53	0.05	0.06	3.79	5.07
5年目	H 15	1.02174	0.99209	0.99209	1.01208	102.3	1.4233	0.72	0.46	3.39	4.42	0.15	0.11	0.13	0.40	0.52	0.05	0.06	3.83	5.00
6年目	H 16	1.02128	0.99202	0.99202	1.01193	101.0	1.3686	0.72	0.46	3.43	4.36	0.15	0.11	0.13	0.40	0.50	0.05	0.06	3.87	4.93
7年目	H 17	0.99579	0.99028	0.98959	0.99399	99.6	1.3159	0.71	0.46	3.47	4.30	0.16	0.11	0.13	0.40	0.49	0.05	0.06	3.92	4.85
8年目	H 18	0.99577	0.99018	0.98942	0.99395	98.7	1.2653	0.70	0.45	3.45	4.14	0.16	0.11	0.13	0.40	0.48	0.05	0.06	3.89	4.68
9年目	H 19	0.99575	0.99009	0.98931	0.99391	97.6	1.2167	0.70	0.45	3.42	4.00	0.15	0.11	0.13	0.39	0.46	0.05	0.06	3.87	4.52
10年目	H 20	0.99573	0.98999	0.98919	0.99388	96.8	1.1699	0.69	0.44	3.40	3.86	0.15	0.11	0.13	0.39	0.44	0.05	0.05	3.84	4.35
11年目	H 21	0.99571	0.98989	0.98907	0.99384	95.6	1.1249	0.68	0.44	3.38	3.73	0.15	0.11	0.12	0.39	0.43	0.05	0.05	3.82	4.21
12年目	H 22	0.99569	0.98978	0.98895	0.99380	93.8	1.0816	0.67	0.43	3.36	3.64	0.15	0.11	0.12	0.38	0.41	0.05	0.05	3.79	4.10
13年目	H 23	0.99568	0.98968	0.98883	0.99376	93.8	1.0400	0.67	0.43	3.36	3.64	0.15	0.11	0.12	0.38	0.41	0.05	0.05	3.79	4.10
14年目	H 24	0.99566	0.98957	0.98870	0.99372	93.8	1.0000	0.67	0.43	3.36	3.64	0.15	0.11	0.12	0.38	0.41	0.05	0.05	3.79	4.10
15年目	H 25	0.99564	0.98946	0.98857	0.99368	93.8	0.9615	0.67	0.43	3.36	3.64	0.15	0.11	0.12	0.38	0.41	0.05	0.05	3.79	4.10
16年目	H 26	0.99562	0.98935	0.98844	0.99364	93.8	0.9246	0.67	0.43	3.36	3.64	0.15	0.11	0.12	0.38	0.41	0.05	0.05	3.79	4.10
17年目	H 27	0.99560	0.98923	0.98830	0.99360	93.8	0.8890	0.67	0.43	3.36	3.64	0.15	0.11	0.12	0.38	0.41	0.05	0.05	3.79	4.10
18年目	H 28	0.99558	0.98912	0.98817	0.99356	93.8	0.8548	0.67	0.43	3.36	3.64	0.15	0.11	0.12	0.38	0.41	0.05	0.05	3.79	4.10
19年目	H 29	0.99556	0.98900	0.98802	0.99352	93.8	0.8219	0.67	0.43	3.36	3.64	0.15	0.11	0.12	0.38	0.41	0.05	0.05	3.79	4.10
20年目	H 30	0.99554	0.98887	0.98788	0.99348	93.8	0.7903	0.67	0.43	3.36	3.64	0.15	0.11	0.12	0.38	0.41	0.05	0.05	3.79	4.10
21年目	H 31	0.99552	0.98875	0.98773	0.99343	93.8	0.7599	0.67	0.43	3.36	3.64	0.15	0.11	0.12	0.38	0.41	0.05	0.05	3.79	4.10
22年目	H 32	0.99550	0.98865	0.98761	0.99339	93.8	0.7307	0.67	0.43	3.36	3.64	0.15	0.11	0.12	0.38	0.41	0.05	0.05	3.79	4.10
23年目	H 33	0.99548	0.98854	0.98750	0.99334	93.8	0.7026	0.67	0.43	3.36	3.64	0.15	0.11	0.12	0.38	0.41	0.05	0.05	3.79	4.10
24年目	H 34	0.99546	0.98843	0.98739	0.99329	93.8	0.6756	0.67	0.43	3.36	3.64	0.15	0.11	0.12	0.38	0.41	0.05	0.05	3.79	4.10
25年目	H 35	0.99544	0.98842	0.98735	0.99325	93.8	0.6496	0.67	0.43	3.36	3.64	0.15	0.11	0.12	0.38	0.41	0.05	0.05	3.79	4.10
26年目	H 36	0.99542	0.98831	0.98724	0.99320	93.8	0.6246	0.67	0.43	3.36	3.64	0.15	0.11	0.12	0.38	0.41	0.05	0.05	3.79	4.10
27年目	H 37	0.99540	0.98820	0.98713	0.99315	93.8	0.6006	0.67	0.43	3.36	3.64	0.15	0.11	0.12	0.38	0.41	0.05	0.05	3.79	4.10
28年目	H 38	0.99538	0.98808	0.98701	0.99310	93.8	0.5775	0.67	0.43	3.36	3.64	0.15	0.11	0.12	0.38	0.41	0.05	0.05	3.79	4.10
29年目	H 39	0.99536	0.98800	0.98693	0.99305	93.8	0.5553	0.67	0.43	3.36	3.64	0.15	0.11	0.12	0.38	0.41	0.05	0.05	3.79	4.10
30年目	H 40	0.99534	0.98792	0.98685	0.99300	93.8	0.5339	0.67	0.43	3.36	3.64	0.15	0.11	0.12	0.38	0.41	0.05	0.05	3.79	4.10
31年目	H 41	0.99532	0.98780	0.98673	0.99295	93.8	0.5134	0.67	0.43	3.36	3.64	0.15	0.11	0.12	0.38	0.41	0.05	0.05	3.79	4.10
32年目	H 42	0.99530	0.98768	0.98661	0.99290	93.8	0.4936	0.67	0.43	3.36	3.64	0.15	0.11	0.12	0.38	0.41	0.05	0.05	3.79	4.10
33年目	H 43	0.99528	0.98756	0.98649	0.99285	93.8	0.4746	0.67	0.43	3.36	3.64	0.15	0.11	0.12	0.38	0.41	0.05	0.05	3.79	4.10
34年目	H 44	0.99526	0.98744	0.98637	0.99280	93.8	0.4564	0.67	0.43	3.36	3.64	0.15	0.11	0.12	0.38	0.41	0.05	0.05	3.79	4.10
35年目	H 45	0.99524	0.98732	0.98625	0.99275	93.8	0.4388	0.67	0.43	3.36	3.64	0.15	0.11	0.12	0.38	0.41	0.05	0.05	3.79	4.10
36年目	H 46	0.99522	0.98720	0.98613	0.99270	93.8	0.4220	0.67	0.43	3.36	3.64	0.15	0.11	0.12	0.38	0.41	0.05	0.05	3.79	4.10
37年目	H 47	0.99520	0.98708	0.98601	0.99265	93.8	0.4057	0.67	0.43	3.36	3.64	0.15	0.11	0.12	0.38	0.41	0.05	0.05	3.79	4.10
38年目	H 48	0.99518	0.98696	0.98589	0.99260	93.8	0.3901	0.67	0.43	3.36	3.64	0.15	0.11	0.12	0.38	0.41	0.05	0.05	3.79	4.10
39年目	H 49	0.99516	0.98684	0.98577	0.99255	93.8	0.3751	0.67	0.43	3.36	3.64	0.15	0.11	0.12	0.38	0.41	0.05	0.05	3.79	4.10
40年目	H 50	0.99514	0.98672	0.98565	0.99250	93.8	0.3601	0.67	0.43	3.36	3.64	0.15	0.11	0.12	0.38	0.41	0.05	0.05	3.79	4.10
41年目	H 51	0.99512	0.98660	0.98553	0.99245	93.8	0.3468	0.67	0.43	3.36	3.64	0.15	0.11	0.12	0.38	0.41	0.05	0.05	3.79	4.10
42年目	H 52	0.99510	0.98648	0.98541	0.99240	93.8	0.3355	0.67	0.43	3.36	3.64	0.15	0.11	0.12	0.38	0.41	0.05	0.05	3.79	4.10
43年目	H 53	0.99508	0.98636	0.98529	0.99235	93.8	0.3207	0.67	0.43	3.36	3.64	0.15	0.11	0.12	0.38	0.41	0.05	0.05	3.79	4.10
44年目	H 54	0.99506	0.98624	0.98517	0.99230	93.8	0.3083	0.67	0.43	3.36	3.64	0.15	0.11	0.12	0.38	0.41	0.05	0.05	3.79	4.10
45年目	H 55	0.99504	0.98612	0.98505	0.99225	93.8	0.2965	0.67	0.43	3.36	3.64	0.15	0.11	0.12	0.38	0.41	0.05	0.05	3.79	4.10
46年目	H 56	0.99502	0.98600	0.98493	0.99220	93.8	0.2851	0.67	0.43	3.36	3.64	0.15	0.11	0.12	0.38	0.41	0.05	0.05	3.79	4.10
47年目	H 57	0.99500	0.98588	0.98481	0.99215	93.8	0.2741	0.67	0.43	3.36	3.64	0.15	0.11	0.12	0.38	0.41	0.05	0.05	3.79	4.10
48年目	H 58	0.99498	0.98576	0.98469	0.99210	93.8	0.2636	0.67	0.43	3.36	3.64	0.15	0.11	0.12	0.38	0.41	0.05	0.05	3.79	4.10
49年目	H 59	0.99496	0.98564	0.98457	0.99205	93.8	0.2534	0.67	0.43	3.36	3.64	0.15	0.11	0.12	0.38	0.41	0.05	0.05	3.79	4.10
		合 計				404.86	92.21	77.88	574.95	343.74	4.13	-0.04	-6.38	-2.30	5.99	15.35	9.01	588.00	358.74	

便益の現在価値算定表

箇所名：国道57号 立野拡幅

(残事業)

年次 (基準年)	年度 H24 供用開始年次	総走行台キロの年次別伸び率 (南九州7県)				GDP デフレータ	走行時間短縮便益(億円)				走行経費減少便益(億円)				事故減少便益(億円)				合 計 (億円)
		乗用車	小型貨物	普通貨物	全 車		① 計 ①×(A)	乗用車	小型貨物	普通貨物	② 計 ②×(A)	現在価値 (A)×②	③ ③×(A)	現在価値 (A)×③	便益合計 (①+②+③)	割引率%			
1年目	H 27	0.99560	0.98923	0.98830	0.99360	0.8890	93.8	3.97	1.11	1.03	6.11	5.43	0.05	0.03	0.04	0.03	6.18	5.49	
2年目	H 28	0.99558	0.98912	0.98817	0.99356	0.8848	93.8	3.96	1.10	1.01	6.07	5.19	0.05	0.03	0.04	0.03	6.13	5.24	
3年目	H 29	0.99556	0.98900	0.98802	0.99352	0.8819	93.8	3.94	1.09	1.00	6.03	4.95	0.05	0.03	0.04	0.03	6.09	5.01	
4年目	H 30	0.99554	0.98887	0.98788	0.99348	0.7903	93.8	3.92	1.07	0.99	5.98	4.73	0.05	0.03	0.04	0.03	6.05	4.78	
5年目	H 31	0.99552	0.98875	0.98773	0.99343	0.7599	93.8	6.42	1.61	1.32	9.35	7.10	-0.04	-0.02	-0.11	-0.17	9.42	7.16	
6年目	H 32	0.99665	0.98875	0.98773	0.99479	0.7307	93.8	6.39	1.59	1.30	9.28	6.78	-0.04	-0.02	-0.11	-0.17	9.36	6.84	
7年目	H 33	0.99664	0.98964	0.99140	0.99476	0.7026	93.8	6.37	1.58	1.29	9.23	6.49	-0.04	-0.02	-0.11	-0.17	9.31	6.54	
8年目	H 34	0.99663	0.98953	0.99132	0.99473	0.6756	93.8	6.35	1.56	1.28	9.19	6.21	-0.04	-0.02	-0.11	-0.17	9.26	6.26	
9年目	H 35	0.99662	0.98942	0.99125	0.99470	0.6496	93.8	6.32	1.54	1.27	9.14	5.94	-0.04	-0.02	-0.10	-0.17	9.21	5.98	
10年目	H 36	0.99661	0.98931	0.99117	0.99468	0.6246	93.8	6.30	1.53	1.26	9.09	5.68	-0.04	-0.02	-0.10	-0.16	9.16	5.72	
11年目	H 37	0.99659	0.98919	0.99109	0.99465	0.6006	93.8	6.28	1.51	1.25	9.04	5.43	-0.04	-0.02	-0.10	-0.16	9.12	5.47	
12年目	H 38	0.99658	0.98908	0.99101	0.99462	0.5775	93.8	6.26	1.49	1.24	8.99	5.19	-0.04	-0.02	-0.10	-0.16	9.07	5.24	
13年目	H 39	0.99657	0.98895	0.99093	0.99459	0.5553	93.8	6.24	1.48	1.22	8.94	4.97	-0.04	-0.02	-0.10	-0.16	9.02	5.01	
14年目	H 40	0.99656	0.98883	0.99085	0.99456	0.5339	93.8	6.22	1.46	1.21	8.89	4.75	-0.04	-0.02	-0.10	-0.16	8.97	4.79	
15年目	H 41	0.99655	0.98871	0.99076	0.99453	0.5134	93.8	6.20	1.45	1.20	8.84	4.54	-0.04	-0.02	-0.10	-0.16	8.92	4.58	
16年目	H 42	0.99032	0.99353	1.00082	0.99186	0.4936	93.8	6.18	1.43	1.19	8.80	4.34	-0.04	-0.02	-0.10	-0.16	8.87	4.38	
17年目	H 43	0.99023	0.99349	1.00082	0.99179	0.4746	93.8	6.12	1.42	1.19	8.73	4.14	-0.04	-0.02	-0.10	-0.16	8.80	4.18	
18年目	H 44	0.99013	0.99345	1.00082	0.99172	0.4564	93.8	6.06	1.41	1.19	8.66	3.95	-0.04	-0.02	-0.10	-0.16	8.73	3.99	
19年目	H 45	0.99003	0.99340	1.00081	0.99166	0.4388	93.8	6.00	1.40	1.19	8.59	3.77	-0.04	-0.02	-0.10	-0.16	8.66	3.80	
20年目	H 46	0.98993	0.99336	1.00081	0.99158	0.4220	93.8	5.94	1.39	1.19	8.52	3.60	-0.04	-0.02	-0.10	-0.16	8.59	3.63	
21年目	H 47	0.98983	0.99332	1.00081	0.99151	0.4057	93.8	5.88	1.38	1.20	8.45	3.43	-0.04	-0.02	-0.10	-0.15	8.52	3.46	
22年目	H 48	0.98973	0.99327	1.00081	0.99144	0.3901	93.8	5.82	1.37	1.20	8.39	3.27	-0.04	-0.02	-0.10	-0.15	8.45	3.30	
23年目	H 49	0.98962	0.99323	1.00081	0.99137	0.3751	93.8	5.76	1.36	1.20	8.32	3.12	-0.04	-0.02	-0.10	-0.15	8.38	3.15	
24年目	H 50	0.98951	0.99318	1.00081	0.99129	0.3607	93.8	5.70	1.36	1.20	8.25	2.98	-0.04	-0.02	-0.10	-0.15	8.31	3.00	
25年目	H 51	0.98940	0.99313	1.00081	0.99122	0.3468	93.8	5.64	1.35	1.20	8.18	2.84	-0.03	-0.02	-0.10	-0.15	8.25	2.86	
26年目	H 52	0.98929	0.99309	1.00081	0.99114	0.3335	93.8	5.58	1.34	1.20	8.11	2.71	-0.03	-0.02	-0.10	-0.15	8.18	2.73	
27年目	H 53	0.98917	0.99304	1.00081	0.99106	0.3207	93.8	5.52	1.33	1.20	8.05	2.58	-0.03	-0.02	-0.10	-0.15	8.11	2.60	
28年目	H 54	0.98905	0.99299	1.00081	0.99098	0.3083	93.8	5.46	1.32	1.20	7.98	2.46	-0.03	-0.02	-0.10	-0.15	8.04	2.48	
29年目	H 55	0.98893	0.99294	1.00081	0.99090	0.2965	93.8	5.40	1.31	1.20	7.91	2.35	-0.03	-0.02	-0.10	-0.15	7.97	2.36	
30年目	H 56	0.98881	0.99289	1.00081	0.99081	0.2851	93.8	5.34	1.30	1.20	7.84	2.24	-0.03	-0.02	-0.10	-0.15	7.90	2.25	
31年目	H 57	0.98868	0.99284	1.00081	0.99073	0.2741	93.8	5.28	1.29	1.21	7.77	2.13	-0.03	-0.02	-0.10	-0.15	7.83	2.15	
32年目	H 58	0.98855	0.99279	1.00081	0.99064	0.2636	93.8	5.22	1.28	1.21	7.71	2.03	-0.03	-0.02	-0.10	-0.15	7.76	2.05	
33年目	H 59	0.98842	0.99273	1.00081	0.99055	0.2534	93.8	5.16	1.27	1.21	7.64	1.94	-0.03	-0.02	-0.10	-0.15	7.69	1.95	
34年目	H 60	0.98828	0.99268	1.00080	0.99046	0.2437	93.8	5.10	1.26	1.21	7.57	1.84	-0.03	-0.02	-0.10	-0.15	7.62	1.86	
35年目	H 61	0.98814	0.99263	1.00080	0.99037	0.2343	93.8	5.04	1.25	1.21	7.50	1.76	-0.03	-0.02	-0.10	-0.15	7.55	1.77	
36年目	H 62	0.98800	0.99257	1.00080	0.99028	0.2253	93.8	4.98	1.24	1.21	7.43	1.67	-0.03	-0.02	-0.10	-0.15	7.48	1.69	
37年目	H 63	0.98785	0.99252	1.00080	0.99018	0.2166	93.8	4.92	1.23	1.21	7.37	1.60	-0.03	-0.02	-0.10	-0.15	7.41	1.61	
38年目	H 64	0.98770	0.99246	1.00080	0.99008	0.2083	93.8	4.86	1.23	1.21	7.30	1.52	-0.03	-0.02	-0.10	-0.15	7.34	1.53	
39年目	H 65	0.98755	0.99240	1.00080	0.98998	0.2003	93.8	4.80	1.22	1.21	7.23	1.45	-0.03	-0.02	-0.10	-0.15	7.27	1.46	
40年目	H 66	0.98739	0.99235	1.00080	0.98988	0.1926	93.8	4.74	1.21	1.21	7.16	1.38	-0.03	-0.02	-0.10	-0.15	7.20	1.39	
41年目	H 67	0.98723	0.99229	1.00080	0.98978	0.1852	93.8	4.68	1.20	1.22	7.09	1.31	-0.03	-0.02	-0.10	-0.15	7.13	1.32	
42年目	H 68	0.98707	0.99223	1.00080	0.98967	0.1780	93.8	4.62	1.19	1.22	7.03	1.25	-0.03	-0.02	-0.10	-0.15	7.06	1.26	
43年目	H 69	0.98690	0.99217	1.00080	0.98957	0.1712	93.8	4.56	1.18	1.22	6.96	1.19	-0.03	-0.02	-0.10	-0.15	6.99	1.20	
44年目	H 70	0.98672	0.99210	1.00080	0.98946	0.1646	93.8	4.50	1.17	1.22	6.89	1.13	-0.03	-0.02	-0.10	-0.15	6.92	1.14	
45年目	H 71	0.98655	0.99204	1.00080	0.98934	0.1583	93.8	4.44	1.16	1.22	6.82	1.08	-0.03	-0.02	-0.10	-0.14	6.86	1.09	
46年目	H 72	0.98636	0.99198	1.00080	0.98923	0.1522	93.8	4.38	1.15	1.22	6.75	1.03	-0.03	-0.02	-0.10	-0.14	6.79	1.03	
47年目	H 73	0.98617	0.99191	1.00080	0.98911	0.1463	93.8	4.32	1.14	1.22	6.69	0.98	-0.03	-0.02	-0.10	-0.14	6.72	0.98	
48年目	H 74	0.98598	0.99185	1.00080	0.98899	0.1407	93.8	4.26	1.13	1.22	6.62	0.93	-0.03	-0.02	-0.10	-0.14	6.65	0.94	
49年目	H 75	0.98578	0.99178	1.00080	0.98887	0.1353	93.8	4.20	1.12	1.22	6.55	0.89	-0.03	-0.02	-0.10	-0.14	6.58	0.89	
49年目	H 76	0.98558	0.99171	1.00079	0.98874	0.1301	93.8	4.14	1.11	1.22	6.48	0.84	-0.03	-0.02	-0.10	-0.14	6.51	0.85	
合 計							265.70	65.69	60.13	391.51	159.08	-6.94	-2.50	9.63	3.79	394.40	160.38		

全体事業費内訳

路線名	箇所名	車線数	延長
国道57号	立野拡幅	4	6.0km

■事業費内訳

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
①工事費					13,323	
	改良費				8,667	
		土工	m3	1,120,757	2,905	切土(127,540)m3、盛土(923,843)m3、不足土(67,774)m3、捨土(1,600)m3
		軟弱地盤改良工	m3	137,544	434	
		法面工	m²	1,149,161	815	切土法面、盛土法面
		擁壁工	式	1	3,145	重力式擁壁、プレキャストL型、補強土壁、ブロック積
		管渠工	m	962	31	
		函渠工	m	292	339	5基
		排水工	m	17,240	403	
		中央分離帯工	m	4,881	130	
	雑工	式	1	465		
	橋梁費				3,874	
		100m以上	m	336	2,462	連続高架橋1橋、高架橋1橋、橋梁補強1橋
		100m未満	m	186	1,412	高架橋2橋(跨線橋1橋)、PC橋5橋(本橋2橋、側道橋3橋)
	トンネル費					
		NATM	m			
		シールド	m			
	IC・JCT費					
		IC	箇所			
		JCT	箇所			
	舗装費				592	
		車道舗装	m²	186,047	563	
		歩道舗装	m²	12,036	29	
	付帯施設費				190	
		交通管理施設工	式	1	190	標識工、防護柵工、道路照明、区画線
		遮音壁	m			
②用地及補償費				1,900		
	用地費		m²	104,617	1,211	
		宅地	m²	11,462	254	
		田畑	m²	57,918	839	
		山林・原野	m²	28,955	54	
		その他	m²	6,282	64	
	補償費	式	1	689		
③間接経費		式	1	2,561	地質調査、測量、設計にかかる費用及び予備費等	
全体事業費				17,784		

【単価等について】

○工事費算出にあたっては、土木工事標準歩掛及び近接事業箇所の実績単価を使用

○用地補償費算出にあたっては、近接事業箇所の直近実績単価を使用

残事業費内訳

路線名	箇所名	車線数	延長
国道57号	立野拡幅	4	2.4km

■事業費内訳

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
①工事費					3,779	
	改良費				1,993	
		土工	m3	121,085	155	切土(33,810)m3、盛土(19,501)m3、不足土(67,774)m3
		軟弱地盤改良工	m3			
		法面工	m²	19,148	253	切土法面、盛土法面
		擁壁工	式	1	1,383	ブロック積、L型擁壁、補強土壁、落石防護壁
		管渠工	m			
		函渠工	m			
		排水工	m	3,318	25	
		中央分離帯工	m	806	20	
		雑工	式	1	157	取付道路
	橋梁費				1,600	
		100m以上	m	336	1,413	連続高架橋1橋、高架橋1橋、橋梁補強1橋
		100m未満	m	40	187	跨線橋1橋
	トンネル費					
		NATM	m			
		シールド	m			
	IC・JCT費					
		IC	箇所			
		JCT	箇所			
	舗装費				166	
		車道舗装	m²	22,840	162	
		歩道舗装	m²	1,999	4	
	付帯施設費				20	
		交通管理施設工	式	1	20	中央分離帯、防護柵工
遮音壁		m				
②用地及補償費					107	
	用地費		m²		77	
		宅地	m²	1,866	34	
		田畑	m²	3,580	16	
		山林・原野	m²	10,030	17	
		その他	m²	1,964	10	
	補償費		式	1	30	
	③間接経費			式	1	131
残事業費					4,017	

【単価等について】

○工事費算出にあたっては、土木工事標準歩掛及び近接事業箇所の実績単価を使用

○用地補償費算出にあたっては、近接事業箇所の直近実績単価を使用

全事業における維持管理費の内訳

路線名	箇所名	車線数	延長
国道57号	立野拡幅	4	6.0km

■維持管理費内訳

区分	単位	数量	金額 (百万円)	備考
維持費	km	6.0	641	巡回、清掃、除草、除雪等
修繕費	式	1	2,761	路面補修、構造物の点検・補修等
維持管理費合計			3,402	

【単価等について】

○維持管理費は、当該道路周辺地域における直轄国道の維持管理等に要する実績経費に基づき算出

残事業における維持管理費の内訳

路線名	箇所名	車線数	延長
国道57号	立野拡幅	4	2.4km

■維持管理費内訳

区分	単位	数量	金額 (百万円)	備考
維持費	km	2.4	338	巡回、清掃、除草、除雪等
修繕費	式	1	1,408	路面補修、構造物の点検・補修等
維持管理費合計			1,746	

【単価等について】

○維持管理費は、当該道路周辺地域における直轄国道の維持管理等に要する実績経費に基づき算出